

子持勾玉の集成と整理

—集成表編—

渡邊 理伊知

要旨 平成 14 年（2002）に國學院大學日本文化研究所より刊行された『子持勾玉資料集成』は考古資料・伝世品・実物の現存を問わず、この段階での子持勾玉集成の到達点であるといえる。

しかし、この集成は、伝世品や出土地点が不明瞭な資料、真贋がはっきりしない資料も含まれている。それらをすべて含めここで集成されている子持勾玉の総数は 448 点である。しかし、出土地点などを見直し精査を行うことで、そこから考古資料としての分析に耐えられる資料を抽出する必要がある。

また、平成 14 年（2002）からすでに 20 年が経過しており、子持勾玉の出土事例も徐々にではあるが増加している。近年、ひとつの遺跡から 45 点の子持勾玉が出土した行田市の北大竹遺跡や奈良県香芝市に所在する狐井稲荷古墳出土の最大級の大きさとされる子持勾玉などの重要資料も報告されている。そこで、『子持勾玉資料集成』以後に報告された子持勾玉を中心に改めて集成も行い、今後の子持勾玉研究の基礎資料としたい。

はじめに

平成 14 年（2002）に國學院大學日本文化研究所より刊行された『子持勾玉資料集成』（相山編 2002）（註 1）では 448 点の子持勾玉が集成されている。出土地点をみると、北は秋田県、南は鹿児島県まで出土し、日本国外の資料として朝鮮半島（大韓民国）の資料も報告されている。

また、『子持勾玉資料集成』に付せられた篠原祐一の「子持勾玉小考」に、都道府県ごとの子持勾玉の点数が挙げられている（篠原 2002）。それによると、この時点で確認された点数の第 1 位が群馬県で 70 点、第 2 位が奈良県で 44 点、第 3 位が長野県で 36 点、第 4 位が大阪府で 32 点、第 5 位が茨城県で 26 点、第 6 位が福岡県で 23 点となっている。

しかし、この『子持勾玉資料集成』に福岡市から出土した資料の多くが含まれていないとの指摘から、田上勇一郎が福岡市出土の子持勾玉を集成し、報告している（田上 2006）。この報告で

田上は福岡市の子持勾玉の点数として未報告（当時）分を含め 22 点を挙げているので、福岡県は合計 45 点となり、奈良県と長野県の資料数を超える。この「田上集成」を「國學院集成」に加えると 470 点の子持勾玉が認知されていることになる。

だが、ほかに「國學院集成」に問題がない訳ではない。この集成には、伝世品や出土地点が不明瞭な資料、真贋がはっきりしない資料も含まれている。あくまでも、現存するかは別として、資料報告等が行われ存在が認知されていた子持勾玉を集めたものであり、これが平成 14 年（2002）時点での認知された子持勾玉の最大数であった。しかし、近年、45 点の子持勾玉が出土した行田市の北大竹遺跡や奈良県香芝市に所在する狐井稲荷古墳出土の最大級の大きさとされる子持勾玉などの重要資料も報告されており、子持勾玉研究が新たな局面に入ったといえよう。

そこで、本稿では改めて子持勾玉の集成を行

うとともに、伝世品や不時発見も多いことから、資料の出土地点を整理し、考古学的な分析に耐えられる資料としては、どれほどの点数を抽出できるかの確認を行う。

1 子持勾玉研究略史

子持勾玉の研究史については、佐野大和によって近代以前から詳細にまとめられている（佐野 1981）。概略を記すと、子持勾玉は既に江戸時代にはその存在について検討が為されていた。伊勢の国学者谷川士清は「太古の剣頭也」と捉え、『日本書紀』「神代下」にある「頭槌、此をば箇歩豆智（カブツチ）と云ふ」（頭椎大刀）と見ている。江戸時代には他の国学者たちも石製の刀剣柄頭であると考えていた。

これを石製の刀剣柄頭ではなく、勾玉（曲玉）の可能性を説いたのは洋学者であり政治家の神田孝平であった（神田 1886）。その後、大野雲外によって「子持曲玉」と呼称されるようになった（大野 1901）。

戦後、緊急発掘調査件数が増加するに伴い、子持勾玉の出土数も増加していった。しかし、遺構から出土する事例は多くなく、子持勾玉の性格を検討するうえでも、子持勾玉個別に形式分類・編年を行う必要があり、森浩一（森 1949）、大場磐雄（大場 1962）、佐野大和（佐野 1981）、佐々木幹雄（佐々木 1985）らによって、形式分類・編年が進められた。これらの研究成果は大平茂によって詳細にまとめられている（大平 1989）。

そして平成 14 年に『子持勾玉資料集成』が刊行される。『子持勾玉資料集成』の例言によると「（省略）現在情報が収集可能なものをできるだけ集成した。」「出土及び伝世している子持勾玉で、写真・実測図が収集できたものを図示した。」「子持勾玉資料集成地名表は、これまでの研究成果や報告書などをもとに、出土及び伝世として報告されている子持勾玉をとりあげた。」とある。

ここから、『子持勾玉資料集成』では実物が確認できる資料以外に写真や実測図から存在が確認できる資料以外に文献上から存在が確認できるものの実物の所在が不明となっている資料の取り上げられていることが分かる。

『子持勾玉資料集成』以後の子持勾玉研究としてはそれまでの分類に主眼を置いた研究から、子持勾玉の出土状況や使用について検討した研究がみられるようになる。

桜井秀雄は『子持勾玉資料集成』を元に竪穴建物跡（竪穴住居跡）出土の子持勾玉を集成し、出土状況別に、石製模造品や白玉の未製品との共伴から、石製模造品製作工房との強い関連性があるという点と拠点集落からの出土傾向が多いという 2 点を指摘している（桜井 2004）。

桃崎祐輔は九州から出土した子持勾玉と畿内から出土した子持勾玉の比較検討を通して子持勾玉を使用した祭祀の性格について検討を試みている（桃崎 2013）。

また、最近、宮地麻未によって『子持勾玉資料集成』以後の資料を加えた 670 点が集成されている（宮地 2021）。

2 集成表について

今回集成して確認できた子持勾玉は計 817 点であった。平成 14 年の「國學院集成」から 369 点、令和 3 年の「宮地集成」から 147 点の増加であった。同一個体を混同してしまった可能性があるものや遺漏もあると思われるが、令和 5 年 1 月時点で子持勾玉として認知される資料の限りなく最大数に近い数値といえよう（註 2）。

しかし、この点数は、「國學院集成」と同様に伝世品や出土地点が不明瞭な資料、真贋がはっきりしない資料も含まれた点数である。

そこで、子持勾玉を出土等の状況ごとに以下の通り分類した。A は「遺構出土」のものとし、発掘調査によって遺構内から出土したことが確認で

きる資料とした。

Bは「混入品、検出面一括」とした。これは、遺構からの出土ではあるが、古墳時代の遺構ではなく、古代、中世、近世等の時期に帰属する遺構に混入して出土した資料と、遺構外の検出面等から出土したものとした。

Cは「表採・出土地が分かるもの」とした。発掘調査に伴う出土資料ではないが、出土地点が把握可能なものとした。

Dは「伝世品・出土地不明」とした。発掘調査による出土ではなく、神社などに伝世したものや出土地点が不明瞭な資料とした。

これらの分類は、考古学的な分析を行うという視点からの評価であり、子持勾玉そのものの評価ではない。Dとした伝世品資料のなかには、現在も神事に用いられている祭具もあり、これらを評

価付けしたものではない。

分類の結果、Aとした資料は218点、Bとした資料は123点、Cとした資料は216点、Dとした資料は260点であった。

おわりに

本稿の目的は「國學院集成」の整理と平成14年以降に確認された子持勾玉の集成である。この場でそれを元に分析や研究を行う意図は無い。自分自身の研究も含め、今後の子持勾玉研究の進展に寄与すれば幸いである。

なお、本稿の「図版編」は今後機会があれば用意する。

末筆ながら資料の集成にあたり、大谷徹・斎藤あや・鈴木顕房・福田聖の各氏より御協力を得ました。記して感謝申し上げます。

註

- 1 以後、國學院大学日本文化研究所による集成を「國學院集成」と表記する。

- 2 他に近年の埋蔵文化財調査によって出土したが、まだ正式報告書が刊行されていない資料がいくつか知られる。

引用・参考文献

- 大野雲外 1901 「子持曲玉」『東京人類学雑誌』第17巻第188号 pp.74
大場磐雄 1962 『武蔵伊興』國學院大學考古学研究報告第二冊
大平 茂 1989 「子持勾玉年代考」『古文化談叢』第21集 九州古文化研究会 pp.37-82
神田孝平 1886 『日本大古石器考』（斎藤忠監修 1983『復刻日本考古学文献集成』第一書房）
桜井秀雄 2004 「住居跡出土の子持勾玉」『金沢大学考古学紀要』27 pp.19-28
佐々木幹雄 1985 「子持勾玉私考」『古代探叢Ⅱ』 pp.319-353
佐野大和 1981 「子持勾玉」『神道考古学講座』第3巻 原始神道期二 古墳時代の祭祀遺物 雄山閣 pp.109-157
篠原裕一 2002 「子持勾玉小考」『子持勾玉資料集成』付録 國學院大學日本文化研究所
相山林繼編 2002 『子持勾玉資料集成』國學院大學日本文化研究所
田上勇一郎 2006 「資料紹介 福岡市出土の子持勾玉」『アーキオ・クレイオ』第7号 pp.122-133
宮地麻未 2021 「子持勾玉の系統変化」『玉文化研究』第5号 pp.131-158
桃崎祐輔 2013 「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集2』福岡大学考古学研究室 pp.87-136
森 浩一 1949 「子持勾玉の研究」『古代学研究』No.1 pp.1-9

附表
 子持勾玉集成表

凡例

集成した資料の通し番号である。
 所在地は報告された時点の地名ではなく、令和5年1月現在の地名とした。順番は総務省の全国地方公共団体コード・韓国・出土地不明順とした。
 遺跡名は各遺跡の名称。及び神社名などを記した。
 出土した遺構は各報告で用いられている名称である。遺構外から出土したものも確認できた範囲で記した。
 石材は石の種類、その他は土製や陶製などの材質を記した。
 時期は共存する土器の年代から記した。
 「A 遺構出土」「B 混入品、検出面一括」「C 表探 出土地が分かるもの」「D 伝世品、出土地不明」
 相山林総編 2002『子持勾玉資料集成』に掲載されている資料を「有」と記したが、重複していると判断したものは除外したため総数は一致しない。
 特に記す必要がある事例について記した。
 出典資料に掲載されている図版番号を記した。
 報告された文献名称

番号	所在地	遺跡名	遺構	材質	時期	評価	国集 学 院 成	備考	出典図	出典
1	宮城県角田市枝野字郡山	角田郡山遺跡	SD120 溝跡	滑石		B		完形 平瓦と共存	第7図2	角田市教委 2006『角田郡山遺跡 XIV』 角田市文化財調査報告書 31
2	宮城県多賀城市伏石・八幡	市川橋遺跡	SD5160 溝跡	粘板岩	5C	A			図版 23-3	宮城県教委 2001『市川橋遺跡の調査―県道「泉・塩釜線」関連調査報告書Ⅲ』 宮城県文化財調査報告書 184
3	秋田県由利本荘市西目町西目字井岡	井岡遺跡	表探	滑石		D	有			秋田県 1960『秋田県史 考古編』
4	山形県山形市嶋北2	嶋遺跡第9次	土器廃棄地点	流紋岩	6C代	B		一部欠	第18図106	山形市教委 2014『嶋遺跡緊急発掘調査報告書』山形市埋蔵文化財調査報告書 35
5	山形県山形市大字七浦字牛か墓	狐山遺跡	表探	暗緑色砂岩		C	有			山形県 1969『山形県史』考古資料 山形県教委 1977『分布調査報告書 (4)』山形県埋蔵文化財調査報告書 12
6	山形県山形市大字青野鷺ノ森	鷺ノ森遺跡		黒緑色		C	有			山形県 1969『山形県史考古資料』 横戸昭二 1972『山形市鷺ノ森遺跡』『山形考古』2－1 山形県教委 1977『分布調査報告書 (4)』 山形県埋蔵文化財調査報告書 12
7	山形県鶴岡市大字田川字興屋川原	興屋川原遺跡	遺構外	滑石		B				山形県埋蔵文化財センター 2010『興屋川原遺跡第1～4次発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書 187
8	山形県鶴岡市大字清水新田字下谷地	清水新田遺跡	SD18 溝跡	滑石		A			75図133	山形県教委 1988『鶴岡市西部地区遺跡群矢馳A遺跡矢馳B遺跡 清水新田遺跡発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財調査報告書 127
9	山形県東村山郡中山町長崎字三軒屋	三軒屋物見台遺跡	遺構外	暗灰色	5C後	B	有		13図-23	山形県教委 1986『三軒屋物見台遺跡発掘調査報告書 (1)』山形県埋蔵文化財調査報告書 106
10	山形県東村山郡中山町長崎字三軒屋	三軒屋物見台遺跡	ST9 住居跡覆土	緑泥片岩	6C中	B	有		第48図1	山形県教委 1987『三軒屋物見台遺跡発掘調査報告書 (2)』山形県埋蔵文化財調査報告書 107

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
11	山形県西村山郡河北町大字下楨字砂田	下楨遺跡	遺構外	滑石		B	有	欠損		山形県教委 1981『下楨遺跡発掘調査報告書』 山形県埋蔵文化財調査報告書 39
12	山形県西村山郡河北町	沢畑遺跡		滑石片岩		C	有	ほぼ完形		川崎利夫 1972「山形県の祭祀遺跡について」 『山形考古』第 2 巻第 1 号
13	山形県東置賜郡川西町大字中郡	中郡遺跡	表採	蛸石		C	有			山形県 1969『山形県史考古資料』 横戸昭二 1972「山形市鷺ノ森遺跡」『山形考古』2 - 1
14	福島県郡山市田村町正直字連沼	正直 A 遺跡	表採	滑石		C	有			福島県 1964『福島県史』第 1 巻 亀井正道 1966『縦鉾山』吉川弘文館 福島県教委・福島県文化財センター 1984「正直 A 遺跡」 『母畑地区遺跡分布調査報告Ⅶ』福島県文化財調査報告書第 133 集
15	福島県いわき市好間町小谷作字広畑	広畑遺跡	表採	滑石		C	有			菅原文也 1965「いわき市内出土の祭祀用遺物二例」『いわき地方史研究』7 菅原文也 1986「第 5 節 祭祀遺跡と遺物」 『いわき市史』第 1 巻原始・古代・中世 菅原文也 1986「福島県の祭祀遺跡」『福島県の研究』1 地質考古編
16	福島県いわき市勿来町窪田字馬場	馬場遺跡	表採	滑石		C	有			菅原文也 1986「第 5 節 祭祀遺跡と遺物」 『いわき市史』第 1 巻原始・古代・中世
17	福島県白河市東千田	千田遺跡	表採	滑石		C	有	旧西白河郡東村千田		福島県 1964『福島県史』第 1 巻
18	福島県白河市表郷三森	建鉾山遺跡（三森地区第 I 地点）	B トレンチ 3 区	滑石片岩		B	有		第 15 図 1	亀井正道 1966『縦鉾山』吉川弘文館
19	福島県白河市東下野出島字横山 5	横山遺跡	包含層か	滑石		C	有	完形		福島県教委 1970『母畑地区開拓事業地内遺跡発掘予備調査概報』福島県文化財調査報告書 23 福島県教委 1977『母畑地区遺跡試掘調査概報』福島県文化財調査報告書 61
20	福島県白河市	栃本遺跡	表採			C	有	旧西白河郡東村		福島県 1964『福島県史』第 1 巻
21	福島県南相馬市鹿島区真野	真野古墳群	A 遺跡 35 墳隣接地	滑石		C	有	完形		小野真一 1973「滑津出土の独鈷石と子持勾玉」『福島考古』14
22	福島県耶麻郡西会津町野沢	芝草原遺跡		滑石		C	有			二瓶清 1963『会津文化史』
23	福島県安達郡大玉村大字供養壇	供養壇遺跡	表採			C	有	重圈文		高橋丑太郎 1964「安達郡大玉村出土の子持勾玉について」『福島考古』5 福島県 1964『福島県史』第 1 巻
24	福島県西白河郡中島村大字滑津元村字新田	滑津遺跡		滑石		C	有	滑津館跡か		小野真一 1973「滑津出土の独鈷石と子持勾玉」『福島考古』14
25	茨城県水戸市内原町	杉崎古墳群 40 号墳		滑石	5C 後～ 6C 初	B				内原町史編さん委員会 1996『内原町史通史編』
26	茨城県水戸市見川町大内田	大内田遺跡		滑石		C	有			瓦葺壁 1988「水戸市大内田遺跡出土の子持勾玉」 『茨城波』2

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
27	茨城県水戸市内原町杉崎	杉崎遺跡				C	有	旧東茨城郡内原町杉崎		茨城県史編纂原子古代部会 1974 『茨城県史料-考古資料編古墳時代』
28	茨城県土浦市木田余東台 2-217 はか	綯買場遺跡				D		子持勾玉の模造品か		土浦市教委・日本考古学研究所 2002 『木田余台 II』
29	茨城県古河市大字久能字アミタ前	向坪B遺跡	第1号住居跡 北壁付近	滑石	5C 末～ 6C 初	A		完形	第 55 図	茨城県教育財団 1986 『南坪 A・B・C 遺跡・向坪 A・B 遺跡・高野遺跡・北新田 A・B・C 遺跡・西坪 A・B 遺跡・溜原 B 遺跡 1』茨城県教育財団文化財調査報告書 38
30	茨城県結城市結城市小田林字西浦 1861	本田遺跡・善長寺遺跡	第3号製作跡	滑石		A			154-Q25	茨城県教育財団 1989 『本田遺跡・善長寺遺跡・小田林遺跡 2』茨城県教育財団文化財調査報告 51
31	茨城県常総市大輪町					D				宮地麻未 2021 「子持勾玉の系統変化」 『玉文化研究』第 5 号
32	茨城県常陸太田市幡町	幡遺跡	表採	滑石		D	有	幡横穴古墳か		大森信英 1966 「小野崎城発掘概報」『史考』18 常陸太田市教委 1966 『常陸太田市幡町、幡横穴古墳調査報告』
33	茨城県取手市高井市之台	高井市の台遺跡		滑石		D	有	取手市に高井市の台遺跡はあるか		江見水陰 1909 『地中の秘密』 京都大学 1968 『京都大学文学部博物館考古学資料目録』第 2 部
34	茨城県つくば市沼崎・今鹿島					D				豊里町 1985 『豊里の歴史』
35	茨城県つくば市					D		九本木		大場磐雄 1972 『神道考古学講座 第 2 巻原始神道 1』 雄山閣
36	茨城県ひたちなか市字猪台津	半分山遺跡	第 43 号住居跡	滑石	6C 代	A	有	完形	第 316 図 4	ひたちなか市文化・スポーツ振興公社 2004 『半分山遺跡』 ひたちなか市文化・スポーツ振興公社文化財調査報告 30
37	茨城県ひたちなか市武田字西高	武田西高遺跡	第 31B 号住居跡 第 83 号ピット	絹雲母片岩	6C 中	A	有	遺構間接合 9 世紀中葉の住居から出土	図 5・6	勝田市文化・スポーツ振興公社 1993 『武田VI』(財) 勝田市文化・スポーツ振興公社文化財調査報告 8
38	茨城県ひたちなか市武田字西高	武田西高遺跡	第 37B 号住居跡	蛇紋岩	6C 代か	A	有		図 73	勝田市文化・スポーツ振興公社文化振興課文化財調査係 1991 『武田IV』(財) 勝田市文化・スポーツ振興公社文化財調査報告 5
39	茨城県ひたちなか市柳沢前方	柳沢遺跡	表採	滑石		D	有	柳沢十二所遺跡か		川角寅吉 1944 「茨城県に於ける古墳の分布」『人類学雑誌』59-10 井上義安 1953 「茨城県前渡村、那珂湊町発見の子持勾玉」『國學院大學考古学会会報 22 号』 那珂湊市史編さん委員会 1974 『写真集那珂湊市史』那珂湊市地名研究会 1986 『那珂湊の地名』
40	茨城県ひたちなか市本郷	本郷遺跡		蛇紋岩		D	有	本郷東遺跡・本郷西遺跡か		佐野大和 1981 「子持勾玉」『神道考古学講座』第 3 巻 原始神道期 二 雄山閣
41	茨城県ひたちなか市津田	津田上場馬遺跡	表採			C	有			嶋志田篤二 1981 『上場馬遺跡発掘調査報告書』
42	茨城県鹿嶋市大字宮中	安崎遺跡 No.89 遺跡	KT89 グリッド	不明		B		欠損 研磨して刃をつける 転用？	Fig7-27	鹿嶋市文化スポーツ振興事業団 2002 『鹿嶋市内遺跡発掘調査報告書 23』鹿嶋市の文化財 113

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
43	茨城県鹿嶋市大字宮中 字戸龍台 4184 ほか	厨台・29.30.31 遺 跡 LR11 調査区	SB184 住居跡	滑石	6C 後～ 7C ?	A		完形	Fig84-6	鹿嶋市文化スポーヅ振興事業団 1996 『鹿島神宮駅北部 埋蔵文化財調査報告』鹿嶋市の文化財 93
44	茨城県鹿嶋市大字宮中 字戸龍台 4184 ほか	厨台・29.30.31 遺 跡 LR11 調査区	B8F10 遺構外	滑石		B		一部欠	Fig103-4	鹿嶋市文化スポーヅ振興事業団 1996 『鹿島神宮駅北部 埋蔵文化財調査報告』鹿嶋市の文化財 93
45	茨城県鹿嶋市大字宮中 字片野	厨台No.4・9 遺跡				C				鹿嶋市文化スポーヅ振興事業団 1995 『鹿島神宮駅北部 埋蔵文化財調査報告 1414』鹿嶋町の文化財 92
46	茨城県鹿嶋市大字宮中 字宮中野	宮中野古墳群	第 45 号竪穴建物 跡	滑石	5C 後	A			第 100 図 Q49	茨城県教育財団 2017 『宮中野古墳群』 茨城県教育財団文化財調査報告 424
47	茨城県鹿嶋市宮中	鹿島神宮境内遺跡				C	有			大野雲外 1906 「雑報 - 子持勾玉」『人類学雑誌』 21- 243 和田千吉 1916 「異形の勾玉」『人類学雑誌』 31-2
48	茨城県鹿嶋市宮中鹿詰	宮中鹿詰遺跡				C	有			『茨城県史料 - 考古資料編古墳時代』 『茨城県史料 - 考古資料編古墳時代』
49	茨城県鹿嶋市宮中	湖岸水田遺跡		滑石		C		宮中条里遺跡		鹿嶋市遺跡保護調査会 1984 『鹿嶋湖北部条里遺跡 44』 鹿嶋町の文化財 38
50	茨城県鹿嶋市宮中	湖岸水田遺跡		滑石		C		宮中条里遺跡		鹿嶋市遺跡保護調査会 1984 『鹿嶋湖北部条里遺跡 44』 鹿嶋町の文化財 38
51	茨城県潮来市	上戸遺跡				D	有	潮来市に上戸遺跡はあるか		『茨城県史料 - 考古資料編古墳時代』 佐野大和 1981 「子持勾玉」『神道考古学講座』 第 3 卷 原始神道期二 雄山閣
52	茨城県那珂市菅谷字地 天	地天館跡				D				那珂市教委 2015 『茨城県那珂市 地天館跡』
53	茨城県那珂市	戸崎遺跡				D				宮地麻未 2021 「子持勾玉の系統変化」 『玉文化研究』 第 5 号
54	茨城県筑西市舟玉					D				茨城県文化財研究会 1993 『古墳時代の祭祀』 東日本埋蔵文化財研究会 1974 『茨城県史料 - 考古資料編古墳時代』
55	茨城県坂東市沓掛字諏 訪山	諏訪山遺跡		滑石		D	有	坂東市に諏訪山遺跡はあるか		茨城県史編纂原子古代部会 1974 『茨城県史料 - 考古資料編古墳時代』 東京国立博物館 1980 『東京国立博物館図版目録・古墳 遺物編 (関東 I)』便利堂
56	茨城県坂東市馬立					D	有	旧猿島弓馬田		相山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
57	茨城県坂東市馬立					D	有	旧猿島弓馬田		相山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
58	茨城県稲敷市江戸崎乙 字堂ノ上	堂ノ上遺跡	第 47A 号住居跡	輝石凝灰岩	6C 前	A		完形	第 90 図 Q51	茨城県教育財団 2009 『堂ノ上遺跡』 茨城県教育財団文化財調査報告 309-2
59	茨城県稲敷市江戸崎乙 字堂ノ上	堂ノ上遺跡	第 93 号住居跡	滑石	5C 末	A		未製品	第 172 図 Q114	茨城県教育財団 2009 『堂ノ上遺跡』 茨城県教育財団文化財調査報告 309-2
60	茨城県稲敷市四箇所作	四箇所作遺跡				C	有	四箇古墳群か		清野謙次 1925 『日本原人の研究』 大場磐雄 1943 『神道考古学論攷』葦牙書房
61	茨城県稲敷市古渡	古渡遺跡				D	有	稲敷市に古渡遺跡はあるか		大場磐雄 1962 「子持勾玉発見地名表」『武蔵伊興』國 學院大學考古学研究報告第 2 冊 藤田安通志 1972 『常総古文化研究』
62	茨城県かすみがうら市 安飾			滑石		D				大場磐雄 1972 『神道考古学講座 第 2 巻原始神道 1』 雄山閣

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
63	茨城県桜川市真壁町上谷貝	上谷貝遺跡		土製		D	有	桜川市に上谷貝遺跡はあるか		大場磐雄 1962 「子持勾玉発見地名表」『武蔵伊興』國學院大學考古学研究報告第2冊 大場磐雄 1972 『神道考古学講座 第2巻原始神道1』雄山閣
64	茨城県桜川市長方			滑石		D				上田三平 1930 「子持勾玉に就て」『史蹟名勝天然記念物』5-6
65	茨城県行方市玉造カギトリ		表採	滑石		D	有			大野雲外 1906 「雑報・子持勾玉」『人類学雑誌』21-243
66	茨城県つくばみらい市神生	神生遺跡		滑石		C	有	神生古墳群か		
67	茨城県小美玉市与沢中根					D	有	橘与沢中根原		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
68	茨城県小美玉市与沢中根					D	有	橘与沢中根原		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
69	茨城県東茨城郡茨城町	上石崎遺跡		滑石		C	有			茨城県史編纂原子古代部会 1974 『茨城県史料・考古資料編古墳時代』
70	茨城県猿島郡五霞町大字川妻字外根元原	寺山遺跡	第1号竪穴建物跡			A			第140図Q6	茨城県教育財団 2014 『宿北遺跡・宿東遺跡・寺山遺跡2』 茨城県教育財団文化財調査報告 383
71	茨城県北相馬郡			蛸石		D	有	北相馬郡内		後藤守一 1930 「子持勾玉」『考古学講座・石製品』
72	茨城県					D	有	鹿島		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
73	茨城県			滑石		D				茨城県史編纂原始古代部会 1974 『茨城県史料・考古資料編古墳時代』
74	栃木県宇都宮市上欠町	聖山公園遺跡・根古谷台遺跡	B区内グリップ	シルト岩 茶褐色		B	有		第112図	宇都宮市教委 1993 『聖山公園遺跡・根古谷台遺跡』宇都宮市埋蔵文化財調査報告書 31
75	栃木県宇都宮市西川田町	黒木橋遺跡	包含層	滑石		C	有	完形		橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について一聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として一」『聖山公園遺跡Ⅱ』宇都宮市埋蔵文化財調査報告 14
76	栃木県宇都宮市下砥上町	下砥上遺跡	表採	蛸石 青鉛色		C	有	完形	第21図6	橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について一聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として一」『聖山公園遺跡Ⅱ』宇都宮市埋蔵文化財調査報告 14
77	栃木県宇都宮市江曽島町	江曽島南原遺跡	表採	滑石		C	有		第21図7	橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について一聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として一」『聖山公園遺跡Ⅱ』宇都宮市埋蔵文化財調査報告 14
78	栃木県足利市相生町	相生町遺跡		滑石 黒褐色		C	有	完形	第21図1	橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について一聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として一」『聖山公園遺跡Ⅱ』宇都宮市埋蔵文化財調査報告 14
79	栃木県栃木市皆川城内町字白山台	白山台遺跡		輝緑凝灰岩 暗緑色	5C後～ 6C初	C	有	完形	第21図4	橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について一聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として一」『聖山公園遺跡Ⅱ』宇都宮市埋蔵文化財調査報告 14
80	栃木県栃木市岩舟町静和野沢岩蔵			滑石		D				橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について一聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として一」『聖山公園遺跡Ⅱ』宇都宮市埋蔵文化財調査報告 14

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 学 院 集 成	備 考	出 典 図	出 典
81	栃木県佐野市君田町新堀					D				橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について―聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として―」『聖山公園遺跡Ⅱ』宇都宮市埋蔵文化財調査報告 14
82	栃木県鹿沼市上殿町字明神前	明神前遺跡	包含層	輝緑凝灰岩		C	有	完形		鹿沼市教委 2002 『明神前遺跡』鹿沼市埋蔵文化財報告書 14
83	栃木県鹿沼市深津					D				野沢岩蔵 1953 「下野出土の子持勾玉」『下野史談』第 30 巻第 1 号
84	栃木県小山市大字栗宮字宮内	宮内 2 号墳	周溝	滑石		A	有	完形		小山市教委 1985 『宮内北遺跡』小山市文化財調査報告書第 16 集
85	栃木県小山市田間西裏	西浦遺跡		滑石		C				栃木県文化振興事業団 1990 『栃木県文化振興事業団年報』平成元年度
86	栃木県真岡市物井	西物井遺跡	SI2011 住居跡	滑石片岩	5C 中	A	有	完形 床面 15cm 上雄土層	第 9 図 26	栃木県埋蔵文化財センター 2000 『西物井遺跡』栃木県埋蔵文化財調査報告 238
87	栃木県さくら市上河戸マンカイ沢	マンカイ沢遺跡	包含層	黒褐色		B	有	完形	第 21 図 3	橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について―聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として―」宇都宮市埋蔵文化財調査報告第 14 集『聖山公園遺跡Ⅱ』
88	栃木県那須烏山市東原	東原古墳群		ホルンフェルス		C	有	完形		橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について―聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として―」宇都宮市埋蔵文化財調査報告第 14 集『聖山公園遺跡Ⅱ』
89	栃木県河内郡上三川町	殿山遺跡	KT-49 住居跡	珪質頁岩		A	有	完形 南西床面 10cm		大川清ほか 1995 『殿山遺跡Ⅰ』日本建築史研究所報告 46
90	栃木県河内郡上三川町	多功天神遺跡		輝緑凝灰岩		C	有	完形		篠原祐一 1994 「1993 年出土せる子持勾玉 2 顆」『考古回覧』17
91	栃木県下都賀郡壬生町小林	榎田・北小林遺跡				D	有	東京都中央区祥雲所蔵	第 21 図 5	橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について―聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として―」宇都宮市埋蔵文化財調査報告第 14 集『聖山公園遺跡Ⅱ』
92	栃木県下都賀郡壬生町羽生田後河原		表採			D	有	壬生町に後河原遺跡はあ るか		橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について―聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として―」宇都宮市埋蔵文化財調査報告第 14 集『聖山公園遺跡Ⅱ』
93	栃木県下都賀郡壬生町中泉 1106	中泉山ノ上遺跡	表採	輝緑凝灰岩		C	有	完形		篠原祐一 1988 「壬生町中泉出土の子持勾玉」『考古回覧』4
94	栃木県下都賀郡壬生町国谷	国谷馬場遺跡		輝緑凝灰岩		C	有	完形		篠原祐一 1994 「1993 年出土せる子持勾玉 2 顆」『考古回覧』17
95	栃木県下都賀郡野木町大字野木	清六Ⅲ遺跡	SI-459 住居跡	粘板岩		A	有	北東覆土		栃木県教委 1999 『清六Ⅲ遺跡』(古墳時代編)栃木県埋蔵文化財調査報告 227
96	栃木県			土製		D		伝栃木県内出土 『子持勾玉資料集成』の 64 か		橋本澄朗 1984 「県内出土の子持勾玉について―聖山公園遺跡出土の子持勾玉を中心として―」宇都宮市埋蔵文化財調査報告第 14 集『聖山公園遺跡Ⅱ』
97	群馬県前橋市富田町宮下 744-1 ほか	富田遺跡	63 号住居跡	滑石	6C 末	A			挿図 19	前橋市 1981 『富田遺跡』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國集 學 院成	備 考	出 典 図	出 典
98	群馬県前橋市元総社 1 丁目	総社神社境内遺跡		滑石	5C 末 ～ 6C 初	C	有	総社神社蔵	2 頁	前橋市教委 1978 『昭和 52 年度文化財調査報告書第 8 集』 外山和夫 1976 「石製模造品を出した高崎市剣崎天神山古墳をめぐって」『考古学雑誌』 62-2 大場磐雄 1937 「子持勾玉私考」『上代文化』 15
99	群馬県前橋市	荒砥遺跡		滑石		D				外山和夫 1976 「石製模造品を出した高崎市剣崎天神山古墳をめぐって」『考古学雑誌』 62-2 佐々木幹雄 1993 「群馬県の子持勾玉」『二十一世紀への考古学』
100	群馬県前橋市二之宮 町谷地	二之宮谷地		滑石		D		旧長瀬総合博物館蔵		外山和夫 1976 「石製模造品を出した高崎市剣崎天神山古墳をめぐって」『考古学雑誌』 62-2 井上唯雄 1982 「赤城山櫛石と群馬の祭祀遺跡」『群馬文化』 192 群馬県地域文化研究協議会
101	群馬県前橋市鳥取町 北口	鳥取北口遺跡		滑石		D	有	國學院集成に図写真無し 前橋市に鳥取北口遺跡と いう遺跡無し		群馬県誌編集委員会 1958 『勢多郡誌』 外山和夫 1976 「石製模造品を出した高崎市剣崎天神山古墳をめぐって」『考古学雑誌』 62-2
102	群馬県前橋市下大屋 町八光	八光 C 遺跡		滑石		C	有	國學院集成に図写真無し		群馬県誌編集委員会 1958 『勢多郡誌』 外山和夫 1976 「石製模造品を出した高崎市剣崎天神山古墳をめぐって」『考古学雑誌』 62-2 井上唯雄 1982 「赤城山櫛石と群馬の祭祀遺跡」『群馬文化』 192 群馬県地域文化研究協議会
103	群馬県前橋市二之宮 町八王子					D	有	國學院集成に図写真無し 八柱神社跡遺跡		群馬県誌編集委員会 1958 『勢多郡誌』 群馬県教委 1963 『群馬県の遺跡』 井上唯雄 1982 「赤城山櫛石と群馬の祭祀遺跡」『群馬文化』 192 群馬県地域文化研究協議会
104	群馬県前橋市三夜沢 町					D	有	國學院集成に図写真無し		坂本弘道 1985 「子持勾玉発見地名表」 『大和朝廷成立期の研究』 雄山閣
105	群馬県前橋市棚島町	棚島川端遺跡	包含層	滑石		B				群馬県埋蔵文化財調査事業団 1996 『棚島川端遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告 224
106	群馬県前橋市			滑石		D		谷地		外山和夫 1976 「石製模造品を出した高崎市剣崎天神山古墳をめぐって」『考古学雑誌』 62-2
107	群馬県高崎市上滝町	上滝遺跡	溝跡	流紋岩		A				群馬県埋蔵文化財調査事業団 1981 『八幡原 A・B 上滝 元島名 A』 北関東自動車道一新潟線一地域文埋蔵文化財発掘調査報告書第 3 集
108	群馬県高崎市八幡町 字中原	八幡中原遺跡第 2 次	156 号住居跡	滑石?		A			図 35-1	高崎市教委 1982 『八幡中原遺跡』 高崎市文化財調査報告書 31
109	群馬県高崎市八幡町 字中原	八幡中原遺跡第 2 次	84 号住居跡	不明		A		破片	図版 37	高崎市教委 1982 『八幡中原遺跡』 高崎市文化財調査報告書 31
110	群馬県高崎市市八幡 町字毘沙門	八幡遺跡	祭祀遺構	不明	6C 後?	A		欠損	図 209-9	高崎市教委 1989 『八幡遺跡』 高崎市文化財調査報告書 91
111	群馬県高崎市稲荷町	稲荷町 I 遺跡	1 号住居跡の柱穴	滑石	6C 初	A				高崎市教委 1992 『稲荷町 I 遺跡』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
112	群馬県高崎市吉井町 馬庭字中林	中林遺跡	住居跡の柱穴			A				群馬町教委 1983『中林遺跡調査概報』 群馬町埋蔵文化財調査報告第 6 集
113	群馬県高崎市	八幡中原遺跡	156 号住居跡	滑石	6C 初	A		ほぼ中央の床面		井上唯雄 1982「赤城山・櫛石と群馬の祭祀遺跡」『群馬文化』192 群馬県地域文化研究協議会 高崎市教委 1982『八幡中原遺跡』高崎市文化財調査報告第 31 集
114	群馬県高崎市	八幡中原遺跡	84 号住居跡	滑石	6C	A				井上唯雄 1982「赤城山・櫛石と群馬の祭祀遺跡」『群馬文化』192 群馬県地域文化研究協議会 高崎市教委 1982『八幡中原遺跡』高崎市文化財調査報告第 31 集
115	群馬県高崎市			滑石		D		山下大カサ		東京国立博物館 1956『東京国立博物館収蔵品目録』（考古・土俗・法隆寺献納宝物） 関忠夫・丹下建三・徳田一穂 1967『日本の工芸』第 10 巻 淡交社 外山和夫 1976「石製模造品を出した高崎市剣崎天神山古墳をめぐって」『考古学雑誌』62-2 梶山林継 1981「祭祀遺跡地名表（関東編・群馬県）」『神道考古学講座』第 3 巻
116	群馬県高崎市三ツ寺 町	三ツ寺 I 遺跡	敷石遺構	滑石	5C 後 ～6C 初	A	有			群馬県埋蔵文化財調査事業団 1988 『三ツ寺 I 遺跡』
117	群馬県高崎市三ツ寺 町	三ツ寺 I 遺跡	溝跡	滑石	5C 後 ～6C 初	A	有	下段と同一個体？		群馬県埋蔵文化財調査事業団 1988 『三ツ寺 I 遺跡』
118	群馬県高崎市三ツ寺 町	三ツ寺 I 遺跡	包含層	滑石	5C 後 ～6C 初	B	有	上段と同一個体？		群馬県埋蔵文化財調査事業団 1988 『三ツ寺 I 遺跡』
119	群馬県高崎市三ツ寺 町・福島町	中林遺跡	1 区 10 号住居址 西南ピット	滑石	6C 代？	A		完形	図 17- (2)	群馬町教委 1983『中林遺跡調査概報』 群馬町埋蔵文化財発掘調査報告 6
120	群馬県高崎市大八木 町	大八木遺跡		滑石		D	有	國學院集成に図写真無し		外山和夫 1976「石製模造品を出した高崎市剣崎天神山古墳をめぐって」『考古学雑誌』62-2 田島柱男 1977「大八木遺跡」『日本考古学年報 1975 年度』28
121	群馬県高崎市中大類 町 / 宿大類町	高崎情報団地 II 遺跡	16 区 108 号住居跡	蛇紋岩	5C 末	A			第 554 図 2	高崎市教委 2002『高崎情報団地 II 遺跡』
122	群馬県高崎市中大類 町 / 宿大類町	高崎情報団地 II 遺跡	11 区 SD80 溝跡	蛇紋岩	5C	B		中世の溝	第 675 図 72	高崎市教委 2002『高崎情報団地 II 遺跡』
123	群馬県高崎市中大類 町 / 宿大類町	高崎情報団地 II 遺跡	16 区遺構外	蛇紋岩	5C	C			第 675 図 73	高崎市教委 2002『高崎情報団地 II 遺跡』
124	群馬県高崎市足門町	保渡田徳昌寺前遺跡	住居跡	滑石	7C 初	A				群馬町教委 2001『保渡田徳昌寺前遺跡』 群馬町埋蔵文化財調査報告 58
125	群馬県高崎市井手町 東	村東 II 遺跡 (D 区)	H-3 号住居跡	不明	6C 前	A		完形	第 18 図 27	群馬町教委 1997『井西下井出 2・東下井出 2 3・村東 2 遺跡・三ツ寺桁街道 2・八幡街道・西原道南遺跡・保渡田裸薬師・中里前遺跡』 群馬町埋蔵文化財調査報告 45

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 立 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
126	群馬県高崎市箕郷町			蛇紋岩？		D	有	重園文 東京国立博物館蔵		稲山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』 大場磐雄 1937 「神宮々域発見の子持勾玉と滑石製品」 『皇国時報』 649 大場磐雄 1941 「上代祭祀遺跡地名表」・「祭祀遺跡関係地名表ー1 子持勾玉出土地」『古代学』 1-2 大場磐雄 1943 『神道考古学論攷』 葦牙書房
127	群馬県桐生市新里町 武井字内出東	武井・田場遺跡		蛇紋岩？		C	有			稲山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
128	群馬県桐生市新里町 小林	日横遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		
129	群馬県伊勢崎市豊城 町	原之城遺跡	中溝	粘板岩	6C 中	A			挿図 19-14	伊勢崎市教委 1988 『原之城遺跡発掘調査報告書』 伊勢 崎市文化財調査報告書 29
130	群馬県伊勢崎市日の 出町	伊勢崎・東流通 団地遺跡	1-11-5 住居跡	滑石	6C 前	A			図無し 巻頭写真のみ	群馬県企業局 1982 『伊勢崎・東流通団地』 後藤守一 1930 「子持勾玉」『考古学講座 - 石製品』 岩沢正作 1933 「群馬県に於ける祭祀関連遺跡概観」『毛 野』 5 後藤守一・相川竜雄 1936 「上野国石製品発見地名表」『群 馬県史蹟名勝天然記念物調査報告』 第 3 集 大場磐雄 1943 『神道考古学論攷』 葦牙書房 大場磐雄 1949 『増補 祭祀遺跡地名表』 高崎学生郷土 研究会 勢多郡誌編纂委員会 1958 『勢多郡誌』 大場磐雄 1962 「子持勾玉発見地名表」『武蔵伊興』 國 學院大學考古学研究所報告第二冊 大場磐雄 1970 「祭祀遺跡地名表」『祭祀遺跡』 角川書 店 大場磐雄 1941 「上代祭祀遺跡地名表」・「祭祀遺跡関係 地名表ー1 子持勾玉出土地」『古代学』 1-2 外山和夫 1976 「石製模造品を出した高崎市剣崎天神山 古墳をめぐって」『考古学雑誌』 62-2 大場磐雄 1978 「祭祀信仰関係の遺跡・遺物」『日本祭 祀集成研究』 1 名著出版 佐野大和 1981 「子持勾玉」『神道考古学講座』 第 3 卷 原始神道期二 雄山閣
131	群馬県伊勢崎市八寸 町 城山字小斎	八斗城山遺跡				C	有	伊勢崎市に八斗城山遺跡 という遺跡は無い		
132	群馬県伊勢崎市八寸 町 城山字小斎	八斗城山遺跡				C	有	同上		同上
133	群馬県伊勢崎市八寸 町 城山字小斎	八斗城山遺跡				C	有	同上		同上
134	群馬県伊勢崎市八寸 町 城山字小斎	八斗城山遺跡				C	有	同上		同上
135	群馬県伊勢崎市八寸 町 城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
136	群馬県伊勢崎市八寸 町 城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
137	群馬県伊勢崎市八寸 町 城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國集 學 院成	備 考	出 典 図	出 典
138	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
139	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
140	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
141	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
142	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
143	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
144	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
145	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
146	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
147	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
148	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
149	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
150	群馬県伊勢崎市八寸 町城山字小斎	八斗城山遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		同上
151	江 群 群馬県伊勢崎市波志			スレート		D	有	東京国立博物館蔵		東京国立博物館 1956『東京国立博物館収蔵品目録』（考古・土俗・法隆寺蔵納宝物） 外山和夫 1976『石製模造品を出した高崎市剣崎天神山古墳をめぐって』『考古学雑誌』62-2 相山林継 1981『祭祀遺跡地名表（関東編・群馬県）』『神道考古学講座』第3巻
152	群馬県伊勢崎市赤堀 町	赤堀下触遺跡				D	有	鳥取北口遺跡		相山林継編 2002『子持勾玉資料集成』
153	群馬県伊勢崎市境町			滑石？		D	有	旧長瀬綜合博物館蔵		相山林継編 2002『子持勾玉資料集成』
154	群馬県伊勢崎市東小 保方	三室間ノ谷遺跡	II 6 号住居跡	蛇紋岩	6C 前	A	有	國學院集成に図写真無し	第 148 図 -9	石塚久則「上部道路関係三室 A 遺跡」『年報 1』 群馬県埋蔵文化財調査事業団 1991『上淵名真神谷遺跡・三室間ノ谷遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告 第 124 集
155	群馬県伊勢崎市					D	有	旧佐波郡赤堀町 國學院集成に図写真無し 相川考古館蔵		相山林継編 2002『子持勾玉資料集成』
156	群馬県太田市数塚本 町	滝之入前遺跡		蛇紋岩？		C	有			数塚本町教委 1985『滝之入前遺跡』 数塚本町埋蔵文化財発掘調査報告書 5

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
157	群馬県太田市金山町	吞龍神社境内遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
158	群馬県太田市成塚町	成塚住宅団地遺跡		蛇紋岩	5C	C				大田区立高山彦九郎記念館蔵 (旧相川考古館蔵)
159	群馬県太田市敷塚町	三島神社境内遺跡		滑石	6C 後	B		三島神社本殿改修の際に社殿下から出土		大田区立高山彦九郎記念館蔵 (旧相川考古館蔵)
160	群馬県渋川市金井	金井下新田遺跡	5区 1号掘立柱建物	滑石	5C 末 ～6C 初	A			第 303 図 53	群馬県埋蔵文化財調査事業団 2021 『金井下新田遺跡く古墳時代以降編』 群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告 689
161	群馬県渋川市中郷	館野遺跡				D	有	旧子持村		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
162	群馬県渋川市中郷	館野遺跡				D	有	旧子持村 國學院集成に図写真無し		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
163	群馬県藤岡市鮎川	鮎川遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し 藤岡市に鮎川遺跡という遺跡無しか		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
164	群馬県富岡市曾木字久保	久保遺跡		滑石		C	有			富岡市教委 1987 『富岡市史』 (自然編、原始・古代・中世編)
165	群馬県富岡市曾木字久保	久保遺跡		滑石		C	有			富岡市教委 1987 『富岡市史』 (自然編、原始・古代・中世編)
166	群馬県富岡市曾木字久保	久保遺跡				C	有	未製品? 國學院集成に図写真無し		富岡市教委 1987 『富岡市史』 (自然編、原始・古代・中世編)
167	群馬県富岡市曾木字久保	久保遺跡				C	有	未製品? 國學院集成に図写真無し		富岡市教委 1987 『富岡市史』 (自然編、原始・古代・中世編)
168	群馬県富岡市宇田	宇田恵下原遺跡				C				富岡市教委 2013 『宇田恵下原遺跡』 富岡市埋蔵文化財発掘調査報告書 35
169	群馬県安中市松井田町新堀			滑石?		D	有	西下原		佐々木幹雄 1993 「群馬県の子持勾玉」『二十一世紀への考古学』
170	群馬県みどり市大間々			滑石?		D	有	異形か後世の造作か 伝大間々		佐々木幹雄 1993 「群馬県の子持勾玉」『二十一世紀への考古学』
171	群馬県甘楽郡甘楽町白倉大竹	甘楽条里遺跡	住居跡	滑石		A	有	未製品		甘楽町教委 1989 『甘楽条里遺跡』
172	群馬県邑楽郡邑楽町篠塚八丁	八丁土師遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し 遺跡無し詳細不明		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
173	群馬県邑楽郡邑楽町篠塚八丁	八丁土師遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し 遺跡無し詳細不明		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
174	群馬県邑楽郡邑楽町篠塚八丁	八丁土師遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し 遺跡無し詳細不明		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
175	群馬県甘楽郡甘楽町小川笹	笹遺跡				D	有	國學院集成に図写真無し		坂本弘道 1985 「子持勾玉発見地名表」 『大和朝廷成立期の研究』 雄山閣
176	群馬県吾妻郡東吾妻町一本松			滑石		D	有	個人蔵 一本町		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
177	群馬県吾妻郡東吾妻町一本松					D	有	國學院集成に図写真無し 一本町		佐々木幹雄 1993 「群馬県の子持勾玉」『二十一世紀への考古学』
178	群馬県吾妻郡東吾妻町一本松					D	有	國學院集成に図写真無し 一本町		佐々木幹雄 1993 「群馬県の子持勾玉」『二十一世紀への考古学』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
179	群馬県邑楽郡大泉町 大字上小泉字間之原	間之原遺跡				C				外山和夫 1976 「石製模造品を出した高崎市剣崎天神山古墳をめぐって」『考古学雑誌』62-2
180	群馬県邑楽郡大泉町 上小泉	相之原遺跡				D	有	間之原遺跡の誤記か？	國學院集成 写真 10 下	梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
181	群馬県					D	有	國學院集成に図写真無し 下中赤堀		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
182	埼玉県熊谷市津田 1824-1 ほか	下田町遺跡	第 671 号溝跡	滑石		A			第 312 図 1	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2006 『下田町遺跡Ⅳ』
183	埼玉県熊谷市津田 1824-1 ほか	下田町遺跡	第 315 号井戸跡	滑石		B		井戸跡は中世か	第 407 図 6	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2006 『下田町遺跡Ⅲ』
184	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A			第 227 図 1	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』
185	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A			第 227 図 2	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』
186	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A			第 227 図 3	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』
187	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A			第 227 図 4	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』
188	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A			第 227 図 5	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』
189	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A		須恵器甕の内部に納めら れていた。	第 227 図 6	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』
190	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A		土師器坏に白玉とともに納 められていた。	第 228 図 7	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』
191	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A			第 228 図 8	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』
192	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A		須恵器甕の内部に納めら れていた。	第 228 図 9	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』
193	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A			第 228 図 10	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』
194	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第 18 次 B 区	第 1 号遺物集中	滑石	7C 中	A			第 228 図 11	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 立 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
195	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第1号遺物集中	滑石	7C 中	A			第228 図 12	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
196	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第297 図 1	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
197	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第297 図 2	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
198	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第297 図 3	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
199	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第297 図 4	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
200	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第297 図 5	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
201	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第297 図 6	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
202	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第297 図 7	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
203	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第297 図 8	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
204	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第297 図 9	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
205	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第298 図 10	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
206	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第298 図 11	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
207	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第298 図 12	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
208	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第298 図 13	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
209	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第298 図 14	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
210	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第298 図 15	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
211	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第298 図 16	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
212	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第298 図 17	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
213	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A			第299 図 18	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
214	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第2号遺物集中	滑石	6C 後 ～末	A		須恵器坏身蓋の内部に納められていた。	第299 図 19	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
215	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A			第337 図 1	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
216	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A			第337 図 2	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
217	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A			第337 図 3	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
218	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A			第337 図 4	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
219	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A			第337 図 5	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
220	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A			第337 図 6	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
221	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A		重圏文	第337 図 7	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
222	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A			第338 図 8	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
223	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A		土師器甕の内部に納められていた。	第338 図 9	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
224	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A			第338 図 10	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
225	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	第3号遺物集中	滑石	7C 初	A			第338 図 11	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
226	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	B区 SD6 溝跡	滑石	6C 後 ～末	A			第362 図 17	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
227	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	B区 SD6 溝跡	滑石	6C 後 ～末	A			第362 図 18	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
228	埼玉県行田市 若小玉	北大竹遺跡 第18次B区	L-16 グリッド	滑石	6C 後 ～末	B			第352 図 2	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2022 『北大竹遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477
229	埼玉県本庄市児玉町 秋山	秋山大町遺跡	138号住居跡	滑石	6C 代?	A			第224 図 13	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 477 本庄市遺跡調査会 2010『秋山大町遺跡 - B・C・D・E 地点の調査-』本庄市遺跡調査会報告書 36
230	埼玉県本庄市児玉町 秋山	秋山大町遺跡	1号溝跡	蛇紋岩	6C 代?	B		9世紀から10世紀の土器 と共存	第310 図 55	本庄市遺跡調査会 2010『秋山大町遺跡 - B・C・D・E 地点の調査-』本庄市遺跡調査会報告書 36 大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』 雄山閣
231	埼玉県本庄市			滑石		D	有	伝児玉郡新郷村出土だが 児玉郡に新郷村はない		
232	埼玉県深谷市大字上 敷免字入枝	上敷免遺跡	第84号住居跡	滑石	5C 後	A		カマド出土	第895 図 1	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 1993『上敷免遺跡V』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 128
233	千葉県千葉市貝塚町 751	荒屋敷貝塚	C54 グリッド	滑石		B		欠損	第71 図 12	千葉県文化財センター 1978『千葉県市荒屋敷貝塚』千葉 県文化財センター調査報告 11
234	千葉県千葉市大森			滑石		D	有	國學院集成に図写真無し		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』雄山閣
235	千葉県市川市古作					D	有	國學院集成に図写真無し		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』雄山閣
236	千葉県館山市下真倉 字舞台 105ほか	長須賀条里制遺跡	DSD1 旧河道	滑石	5C 中 ～後	A		完形	第65 図 240	千葉県文化財センター 2004『館山市長須賀条里制遺 跡・北条条里制遺跡1』千葉県文化財センター調査報 告 474
237	千葉県木更津市小浜 字マミヤク	マミヤク遺跡	祭祀遺構	滑石	5C 中 ～後	A	有			君津郡市文化財センター 1989 『小浜遺跡群II マミヤク遺跡』
238	千葉県野田市下三ヶ 尾					D	有	國學院集成に図写真無し		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』 雄山閣
239	千葉県成田市大和田					D	有	國學院集成に図写真無し		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』 雄山閣
240	千葉県成田市滑川					D	有	國學院集成に図写真無し		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』 雄山閣
241	千葉県成田市石橋台					D	有	國學院集成に図写真無し		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』 雄山閣
242	千葉県成田市滑川字 城台	菊水山2号墳	主体部外	滑石	6C 後	A				香取郡市文化財センター 1995『事業報告IV』
243	千葉県市原市ちはら 台	川焼台遺跡	住居跡	滑石		A				第54 回埋蔵文化財研究集会 2005 『古墳時代の滑石製品ーその生産と消費ー』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 学 院 集 成	備 考	出 典 図	出 典
244	千葉県流山市三輪野山	三輪野山第2遺跡	010C号住居跡	滑石	6C中	A			第234図2	千葉県文化財センター1996『主要地方公共施設・野田線埋蔵文化財調査報告書』千葉県文化財センター調査報告276
245	千葉県袖ヶ浦市富岡字滝之口	滝之口遺跡		滑石		C	有			相山林継「千葉県岩井宮の台祭祀遺跡と国勝神社」『研修』20
246	千葉県印西市平賀	油作遺跡(第1・第2)	第30号住居址 第36号住居址	緑色片岩		A	有	遺構間接合床面やや上		村山好文1985『平賀』平賀遺跡群発掘調査会高橋誠他1991『油作第1遺跡発掘調査報告書』(財)印旛都市文化財センター
247	千葉県印西市船尾			滑石		D	有	東京国立博物館蔵		大場磐雄1972『神道考古学講座第2巻原始神道1』雄山閣
248	千葉県印西市					D				大場磐雄1972『神道考古学講座第2巻原始神道1』雄山閣
249	千葉県山武市下布田			滑石		D	有			大場磐雄1972『神道考古学講座第2巻原始神道1』雄山閣
250	千葉県山武郡横芝光町長倉鍛冶屋台	長倉鍛冶屋台遺跡	遺構外			B			206図71	山武都市文化財センター2007『長倉鍛冶屋台遺跡5』(財)山武都市文化財センター93
251	千葉県長生郡睦沢町上之郷1654-1	熊野神社裏遺跡		滑石	5C?	C				文化庁『文化遺産オンライン』ホームページ https://bunkanliac.jp/
252	千葉県長生郡長南町	根畑遺跡	住居跡	滑石	5C?	A				総南文化財センター2004『根畑遺跡』 総南文化財センター調査報告53
253	千葉県香取郡内					D	有	國學院集成に図写真無し		大場磐雄1972『神道考古学講座第2巻原始神道1』雄山閣
254	東京都足立区伊興・東伊興	伊興遺跡/東伊興遺跡				C	有			足立区伊興遺跡調査会1997『伊興遺跡』
255	東京都足立区伊興・東伊興	伊興遺跡	B-d-8区20 ~25グリッド	滑石	7C	B	有	欠損	図195-6	足立区伊興遺跡調査会1997『伊興遺跡』
256	東京都足立区伊興・東伊興	伊興遺跡	包含層	滑石	5C	B	有	重圈文		大場磐雄1962『武蔵伊興』國學院大學考古学研究報告第2冊
257	東京都足立区伊興・東伊興	伊興遺跡	包含層	滑石	5C	B	有			大場磐雄1962『武蔵伊興』國學院大學考古学研究報告第2冊
258	東京都足立区伊興・東伊興	伊興遺跡	包含層	滑石	5C	B	有			大場磐雄1962『武蔵伊興』國學院大學考古学研究報告第2冊
259	東京都足立区西保木 簡3丁目4丁目	法華寺境内遺跡	土坑		5C	A	有			佐々木彰2010「子持勾玉埋納遺構にみるたましめ毛長川流域法華寺境内遺跡発見の子持勾玉出土状況の考察から」『日本基層文化論叢』
260	東京都多摩市一の宮104ほか 東京都日野市落川848ほか	落川・一の宮遺跡	C-29号掘立柱建物	滑石		A	有	完形	第254図1	落川・一の宮遺跡(日野3・2・7号線)調査団2001『落川・一の宮遺跡II 古代編』
261	神奈川県横浜市区緑区	矢崎山遺跡	溝跡	滑石		C	有			横浜市区緑区二丁目ニユータウン 埋蔵文化財調査団1986『古代の横浜』
262	神奈川県横浜市区鶴見区			滑石		D				東京国立博物館1986『東京国立博物館図録 目録古墳遺物編関東III』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
263	神奈川県相模原市南区磯部	勝坂有鹿谷祭祀遺跡		滑石	5C 前 ～ 6C	C	有	有鹿谷付近円形石囲	図 8-1	相模原市『勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書』 相模原市史調査報告書 6
264	神奈川県三浦市初声町	三戸祭祀遺跡		滑石	5C ?	D	有			海原泰江 1976 「三浦半島における祭祀遺物とその出土遺跡」 『樹須賀考古学会年報』 No. 19
265	神奈川県足柄下郡湯河原町竹の原	竹の花遺跡	包含層	滑石		B	有			神奈川県県民部県史編纂室 1979 『神奈川県史考古資料』
266	新潟県長岡市寺泊竹森	横滝山遺跡	表採	滑石		C	有	白鳳期の寺院跡		寺泊町 1991 『寺泊町史 資料編 1 原始・古代・中世』 中島愛理 2021 「新潟県内出土子持勾玉に関する覚書き」 『研究紀要』第 12 号 新潟県埋蔵文化財調査事業団
267	新潟県新発田市笹神村	腰廻遺跡	SD2 溝跡	滑石		B		中世の溝に混入		笹神村教育委員会 2002 『腰廻遺跡』笹神村文化財調査報告 13 中島愛理 2021 「新潟県内出土子持勾玉に関する覚書き」 『研究紀要』第 12 号 新潟県埋蔵文化財調査事業団
268	新潟県燕市渡部・国上	石港遺跡 (夕暮れの岡)	表採	滑石	5C	C	有	令和 4 年の調査で 2 点目出土		大場馨雄 1972 『神道考古学講座 第 2 巻原始神道 1』 雄山閣 中島愛理 2021 「新潟県内出土子持勾玉に関する覚書き」 『研究紀要』第 12 号 新潟県埋蔵文化財調査事業団
269	新潟県糸魚川市大字大和川字六反田	六反田南遺跡	SD605 溝跡	滑石	6C 前	A		未成品	図版 67-888	新潟県埋蔵文化財調査事業団 2010 『六反田南遺跡 II』 新潟県埋蔵文化財調査報告書 211
270	新潟県糸魚川市大字大和川字六反田	六反田南遺跡	SD605 溝跡	滑石	6C 前	A		未成品	図版 67-892	新潟県埋蔵文化財調査事業団 2010 『六反田南遺跡 II』 新潟県埋蔵文化財調査報告書 211
271	新潟県糸魚川市大字大和川字六反田	六反田南遺跡	SD605 溝跡	滑石	6C 前	A		未成品	図版 67-893	新潟県埋蔵文化財調査事業団 2010 『六反田南遺跡 II』 新潟県埋蔵文化財調査報告書 211
272	新潟県糸魚川市	田伏遺跡	包含層	滑石	5C ?	B	有			関雅之 1972 『田伏玉作遺跡』糸魚川市教委 中島愛理 2021 「新潟県内出土子持勾玉に関する覚書き」 『研究紀要』第 12 号 新潟県埋蔵文化財調査事業団
273	新潟県糸魚川市東寺町	笛吹田遺跡	表採			D				中島愛理 2021 「新潟県内出土子持勾玉に関する覚書き」 『研究紀要』第 12 号 (公財) 新潟県埋蔵文化財調査事業団
274	新潟県妙高市					D		旧関山宝蔵院庭園		妙高市教委 2021 『名勝旧関山宝蔵院庭園修復整備事業報告書』 中島愛理 2021 「新潟県内出土子持勾玉に関する覚書き」 『研究紀要』第 12 号 新潟県埋蔵文化財調査事業団
275	新潟県中頸城郡 (妙高市か)	矢代神社境内				D	有	新潟県に矢代神社という神社はないか		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
276	新潟県上越市大字木田字一之口	一之口遺跡東地区	包含層	滑石	6C 末	B	有		図版 133-1221	新潟県埋蔵文化財調査事業団 1994 『一之口遺跡東地区』 新潟県埋蔵文化財調査報告書 60
277	新潟県上越市大字木田字一之口	一之口遺跡東地区	包含層	滑石	6C 末	B	有		図版 133-1222	新潟県埋蔵文化財調査事業団 1994 『一之口遺跡東地区』 新潟県埋蔵文化財調査報告書 60

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
278	新潟県上越市大字木田字一之口	一之口遺跡東地区	包含層	滑石	6C 末	B	有	未製品		新潟県埋蔵文化財調査事業団 1994『一之口遺跡東地区4』 新潟県埋蔵文化財調査報告書 60
279	新潟県上越市青野		表採	滑石		D	有	富士川神社の畑地		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』 雄山閣 中島愛理 2021「新潟県内出土子持勾玉に関する覚書き」 『研究紀要』第12号 新潟県埋蔵文化財調査事業団
280	新潟県上越市倉石					D	有	高田		相山林継編 2002『子持勾玉資料集成』
281	新潟県佐渡市新保川東	新保川東遺跡		滑石		C	有			金井町史編纂委員会 1979『佐渡金井町史』 中島愛理 2021「新潟県内出土子持勾玉に関する覚書き」 『研究紀要』第12号 新潟県埋蔵文化財調査事業団
282	新潟県佐渡市西三川・田切須	小布勢神社遺跡		滑石		C	有	本殿後方（西側）200m 地点		椎名仙卓 1958「佐渡小布勢神社境内遺跡出土の子持勾玉」『越佐研究』13 中島愛理 2021「新潟県内出土子持勾玉に関する覚書き」 『研究紀要』第12号 新潟県埋蔵文化財調査事業団
283	富山県高岡市手洗野	間尽遺跡	N28 - NE 包含層			B			図面 60-544	山武考古学研究所 2004『間尽遺跡調査報告Ⅱ』高岡市埋蔵文化財調査報告 11
284	富山県氷見市	谷屋B遺跡	表採	滑石		C	有	重圈文	13 頁	西井龍儀 1971「氷見市谷屋発見の子持勾玉」 『考古学ジャーナル』No54 ニューサイエンス社
285	富山県射水市南太閤山19丁目／橋下条	南太閤山I遺跡	攪乱	滑石		C	有	一部欠	第13図 101	富山県埋蔵文化財センター 1985 『都市計画街路七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要(3)』
286	富山県中新川郡立山町若宮字南岡地免	若宮B遺跡	SD042 溝跡	滑石	5C 後？	B	有	完形 重圈文	図版 11-11	富山県埋蔵文化財センター 1982 『北陸自動車道調査報告』
287	石川県金沢市藤江北	藤江C遺跡		滑石		C			第196図 550	石川県埋蔵文化財センター 2002『金沢市藤江C遺跡Ⅳ・Ⅴ』
288	石川県七尾市小島町地内	小島西遺跡	G2区SK19・20 土坑	不明	5C 代？	A			図版 148-1112	石川県埋蔵文化財センター 2008 『七尾市 小島西遺跡』
289	石川県七尾市小島町地内	小島西遺跡	G2区SK19・20 土坑	不明	5C 代？	A		欠損	図版 148-1113	石川県埋蔵文化財センター 2008 『七尾市 小島西遺跡』
290	石川県七尾市岩屋町	岩屋遺跡		流紋岩		C	有			川崎澄夫 1958「石川県七尾市出土の祭祀遺物二例」『貝塚』76 橋本澄夫 1969「七尾・鹿島における土師器出土遺物の紹介」『石川県考古学研究会誌』12
291	石川県七尾市	七尾神社		流紋岩		D	有	石川県に七尾神社という神社はないか		川崎澄夫 1958「石川県七尾市出土の祭祀遺物二例」『貝塚』76
292	石川県小松市矢田野	丸山神社遺跡 (矢田新丸古墳)	表採	滑石		C	有			上野与一 1954「石川県江沼郡矢田新丸山古墳の子持勾玉」『考古学雑誌』40-1

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 立 学 院	備 考	出 典 図	出 典
293	石川県小松市漆町・ 金屋町・白江町	漆町遺跡群	包含層	滑石		C	有			石川県立埋蔵文化財センター 1986『漆町遺跡1』
294	石川県加賀市松山町	松山 C 遺跡	溝跡	滑石		C		混入か		石川県埋蔵文化財センター 2001『加賀市松山 C 遺跡』
295	石川県羽咋郡志賀町 高田	高田遺跡	祭祀遺構	滑石	5C 末	A	有	重圈文		富来町教委 1999『高田遺跡』
296	石川県羽咋郡志賀町 高田	高田遺跡	包含層	滑石	6C 初	B	有			富来町教委 1999『高田遺跡』
297	石川県羽咋郡志賀町 高田	高田遺跡	包含層	滑石		B	有			富来町教委 1999『高田遺跡』
298	福井県坂井市坂井町 長屋	長屋遺跡	2号井戸	滑石	6C 前	A	有	欠損	第 44 図	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 1987『長屋遺跡』 福井県埋蔵文化財調査報告 13
299	山梨県北杜市長坂町 大八田字秋田	柳坪遺跡	12号住居跡	緑色片岩	6C 後 ～7C	A	有	西側周溝近く	第 50 図 1	山梨県教委 1975『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書（北巨摩郡長坂・明野・韭崎地内）』
300	山梨県笛吹市八代町 南字五里原	五里原遺跡	B-19 グリッド	滑石	5C 後 ～6C 中	B			第 24 図	笛吹市教委 2007『五里原遺跡』 笛吹市文化財調査報告書 6
301	長野県長野市篠ノ井 横田	観音寺遺跡	表採	滑石		C	有		図 2	長野市教委 1987『横田遺跡群：富士宮遺跡』 長野市の埋蔵文化財 23
302	長野県長野市篠ノ井 横田	観音寺遺跡	表採	粘板岩		C	有		図 2	長野市教委 1987『横田遺跡群：富士宮遺跡』 長野市の埋蔵文化財 23
303	長野県長野市篠ノ井 横田	観音寺遺跡	表採	粘板岩		C	有		図 2	長野市教委 1987『横田遺跡群：富士宮遺跡』 長野市の埋蔵文化財 23
304	長野県長野市篠ノ井	篠ノ井遺跡群 5	VIII -S-1 (I) SB01 竪穴住居跡			A		重圈文	図 295-1	長野市教委 2002『篠ノ井遺跡群 5』 長野市の埋蔵文化財 101
305	長野県長野市上松	本村東沖遺跡	31号住居跡	滑石	5C 中	A	有		図 188	長野市教委 1988『地附山古墳群』長野市の埋蔵文化財 第 30 集 長野市教委 1993『浅川扇状地遺跡群本村東沖遺跡』長野市の埋蔵文化財第 50 集
306	長野県長野市松代西 寺尾	海津城址遺跡	包含層			C	有			宮崎・三木文雄 1935『子持勾玉の新例』『考古学雑誌』 25-9 信濃史料刊行会編輯 1956『信濃史料』第 1 巻上
307	長野県長野市松代平 林	平林遺跡				D	有	長野市に平林遺跡という 遺跡はあるか		和田千吉 1916『異形の勾玉』『人類学雑誌』31-2 信濃史料刊行会編輯 1956『信濃史料』第 1 巻上
308	長野県長野市若穂	榎田遺跡	SB449 住居跡	滑石		C	有	重圈文		長野県埋蔵文化財センター 1989～1992 『長野県埋蔵文化財センター年報』6～9
309	長野県長野市若穂	榎田遺跡				C	有			長野県埋蔵文化財センター 1989～1992 『長野県埋蔵文化財センター年報』6～9
310	長野県長野市若穂綿 内 1952 番地ほか	榎田遺跡	SB756 住居跡			A	有		図版 375-49	長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センター 1999『長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 37： 長野市内その 10：榎田遺跡 12 第 2 分冊（本文編 2）』
311	長野県長野市松代町 東桑字内田	玉依比売命神社				D	有	伝玉依比売命神社		大場磐雄 1942『玉依比売命神社の児玉石』 『信濃』5・6

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
312	長野県長野市松代町 東条字内田	玉依比売命神社				D	有	伝玉依比売命神社 『信濃』5・6		大場磐雄 1942 「玉依比売命神社の児玉石」 『信濃』5・6
313	長野県長野市松代町 東条字内田	玉依比売命神社				D	有	伝玉依比売命神社 『信濃』5・6		大場磐雄 1942 「玉依比売命神社の児玉石」 『信濃』5・6
314	長野県長野市松代町 東条字内田	玉依比売命神社				D	有	伝玉依比売命神社 『信濃』5・6		大場磐雄 1942 「玉依比売命神社の児玉石」 『信濃』5・6
315	長野県長野市松代町 東条字内田	玉依比売命神社				D	有	伝玉依比売命神社 『信濃』5・6		大場磐雄 1942 「玉依比売命神社の児玉石」 『信濃』5・6
316	長野県長野市松代町 東条字内田	玉依比売命神社				D	有	伝玉依比売命神社 『信濃』5・6		大場磐雄 1942 「玉依比売命神社の児玉石」 『信濃』5・6
317	長野県長野市松代町 東条字内田	玉依比売命神社				D	有	伝玉依比売命神社 『信濃』5・6		大場磐雄 1942 「玉依比売命神社の児玉石」 『信濃』5・6
318	長野県長野市松代町 東条字内田	玉依比売命神社				D	有	伝玉依比売命神社 『信濃』5・6		大場磐雄 1942 「玉依比売命神社の児玉石」 『信濃』5・6
319	長野県長野市松代町 東条字内田	玉依比売命神社				D	有	伝玉依比売命神社 『信濃』5・6		大場磐雄 1942 「玉依比売命神社の児玉石」 『信濃』5・6
320	長野県松本市			滑石		D	有	仁能田山		梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
321	長野県松本市和泉二 山					D	有	和泉二山		松本市編纂 1933 『松本市史』上巻
322	長野県上田市					D				佐々木幹雄 1983 「上田市豊里区吉田治郎瀧出土の子持 勾玉」『上小考古』13
323	長野県飯田市座光寺 1726-1	北本城々跡	遺構外			B	有		第5図	飯田市教委 1992 『北本城々跡』飯田市教委
324	長野県飯田市三穂下 瀬	別所原遺跡	古墳			C	有	別所原の古墳		東日本埋蔵文化財研究会 1993 『古墳時代の祭祀』
325	長野県飯田市鼎下山					D	有	矢高原		東日本埋蔵文化財研究会 1993 『古墳時代の祭祀』
326	長野県諏訪市有賀 3950 番地	十二ノ后遺跡	32号住居跡	滑石	7C後	A	有	西北隅壁面より10cm	図287-3	長野県教委 1976 『長野県中央道埋蔵文化財 包蔵地発掘調査報告書』
327	長野県伊那市下手良	下手良遺跡	包含層			C	有			東日本埋蔵文化財研究会 1993 『古墳時代の祭祀』
328	長野県茅野市永明 矢ヶ崎	永明矢ヶ崎遺跡				C	有	茅野市に永明矢ヶ崎遺跡 はあるか		信濃史料刊行会編輯 1956 『信濃史料』第1巻上
329	長野県茅野市永明 矢ヶ崎	永明矢ヶ崎遺跡				C	有	茅野市に永明矢ヶ崎遺跡 はあるか		信濃史料刊行会編輯 1956 『信濃考古綜覧』
330	長野県塩尻市宗賀平 出	平出遺跡	42号住居址	滑石		A	有	床面30cm		和田千吉 1916 「異形の勾玉」『人類学雑誌』31-2 信濃史料刊行会編輯 1956 『信濃史料』第1巻上
331	長野県塩尻市宗賀平 出	平出遺跡	35号住居址	滑石		A	有			平出遺跡調査団 1955 『平出』
332	長野県中野市大字新 野756番地	新野遺跡	表探	滑石		C			第9図	中野市教委 2003 『新野遺跡』
333	長野県佐久市岩村田	門正方遺跡群	表探			B			70頁	佐久市教委 1996 『佐久市埋蔵文化財年報4 平成6年度』
334	長野県佐久市大字岩 村田字内西浦	岩村田遺跡群内 西浦遺跡Ⅱ				B				長野県教委 2002 『長野県埋蔵文化財発掘調査要覧』長 野県埋蔵文化財発掘調査要覧12

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
335	長野県佐久市岩村田 字清水田	清水田遺跡	表採	滑石		C				佐久市教委 1994 『佐久市埋蔵文化財年報 4 平成 6 年度』
336	長野県佐久市入澤	入沢古墳群		滑石		C				第 54 回埋蔵文化財研究集会 2005 『古墳時代の滑石製品―その生産と消費―』
337	長野県千曲市雨宮	屋代遺跡群 6 区	河川跡			A	有	國學院集成の島遺跡と同 一か		東日本埋蔵文化財研究会 1998 『古墳時代の豪族居館をめぐる諸問題』
338	長野県千曲市屋代	屋代遺跡				C				長野県埋蔵文化財センター 1999『更埴市内その 5: 更 埴条里遺跡・屋代遺跡群 (含む大境遺跡・窪河原遺跡) 26 古代 1 編』
339	長野県東御市和	次郎淵遺跡				C	有	上田市博物館蔵	第 97 図 1	長野県埋蔵文化財センター 発掘調査報告書 42
340	長野県北佐久郡軽井 沢町長倉潜岩					D	有	伝入山峠		東日本埋蔵文化財研究会 1993『古墳時代の祭祀』
341	長野県上伊那郡南箕 輪村久保	丸山古墳				C	有	久保丸山遺跡か		南箕輪村教委 1993『箕輪遺跡 堀ノ井中田地区』南箕 輪村埋蔵文化財緊急発掘調査報告書
342	長野県上伊那郡南箕 輪村北殿	内城遺跡				C				南箕輪の史跡の話編集委員会 2019 『南箕輪の史跡の話』
343	長野県高森町下市田	中谷遺跡	黒沢川の出水で 押し出した土砂			C	有		図無し	東日本埋蔵文化財研究会 1993『古墳時代の祭祀』
344	長野県高森町牛牧鐘 鎗原	鐘鎗原遺跡	不明			C	有		図無し	長野県教委 1973『長野県中央道埋蔵文化財 包蔵地発掘調査報告書』
345	長野県下伊那郡阿智 村駒場	五反田遺跡				C	有			東日本埋蔵文化財研究会 1993『古墳時代の祭祀』
346	長野県坂城町大字上 平 150 他	上五明条里水田址	SD9 溝跡			B			第 66 図 1	長野県埋蔵文化財センター 2011『上五明条里水田址 2』 長野県埋蔵文化財センター 発掘調査報告書 97
347	長野県					D	有	池田宮神宝		梶山林綴編 2002『子持勾玉資料集成』
348	岐阜県高山市三福寺	三福寺遺跡				D	有	高山市に三福寺遺跡はあ るか		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第 2 巻原始神道 1』雄山閣
349	岐阜県高山市桜尾					D	有			梶山林綴編 2002『子持勾玉資料集成』
350	岐阜県美濃加茂市峰 屋町大伸寺	大伸寺遺跡		滑石		D	有	美濃加茂市に大伸寺遺跡 はあるか		大場磐雄 1937『子持勾玉私考』『上代文化』15
351	岐阜県山県市伊佐美					D	有			大場磐雄 1970『祭祀遺跡地名表』 『祭祀遺跡』角川書店
352	静岡県静岡市大谷地 先	神明原・元宮川遺 跡	流路Ⅳ			A			第 52 図 1	静岡県埋文研究所 1988『大谷川 (稲妻地区)』 静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 12
353	静岡県静岡市駿河区 栗原			滑石		D				静岡県 1992『静岡県史 資料編考古 3』
354	静岡県浜松市相武町	山ノ花遺跡	C 4 東南大溝 南肩部	滑石	5C ?	B	有	試掘時に出土	第 82 図 1	浜松市文化協会 1998『山ノ花遺跡』
355	静岡県沼津市御幸町 92-1 ほか	御幸町遺跡 第 2 次	不明	滑石		C	有	一部欠	図 42 (写真)	沼津市教委 1980『御幸町遺跡第 2 次発掘調査概報』 沼津市文化財調査報告 21

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	備 考	出 典 図	出 典
356	静岡県沼津市内浦字 長浜	白髪神社境内か			5C 後	C	有 國學院集成の長浜遺跡		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』 雄山閣 沼津市 1958『沼津市誌』下巻
357	静岡県沼津市丸子町	丸子遺跡		蛸石		C	有 丸子神社旧境内		小野真一・石谷敏一ほか 1984『丸子遺跡』
358	静岡県富士宮市黒田	滝戸遺跡				C	有		富士宮市教委 1977『滝戸遺跡発掘調査概報(第1次)』
359	静岡県富士宮市貴船 町					D			国立歴史民俗博物館 1985「共同研究 古代の祭祀と信仰—附篇祭祀関係遺物出土地名表」『国立歴史民俗博物館研究報告』第7集
360	静岡県富士市久沢字 沢東	沢東 A 遺跡 次	第 4 トレンチ	滑石	5C 後 ～ 6C 後	B	有 完形	第 117 図 1	富士市教委 1995『沢東 A 遺跡 富士不燃建材㈱工場増設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』
361	静岡県富士市久沢字 沢東	沢東 A 遺跡 次	C-2 区 玉類集中域北	滑石	5C 後 ～ 6C 後	A	有 欠損	第 117 図 2	富士市教委 1995『沢東 A 遺跡 富士不燃建材㈱工場増設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』
362	静岡県富士市久沢字 沢東	沢東 A 遺跡 次	C-2 区 玉類集中域北	滑石	5C 後 ～ 6C 後	A	有 完形	第 117 図 3	富士市教委 1995『沢東 A 遺跡 富士不燃建材㈱工場増設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』
363	静岡県掛川市西大淵 村東	村東遺跡				C	有 古桶神社境内		大場磐雄 1970「祭祀遺跡地名表」『祭祀遺跡』角川書店
364	静岡県袋井市三川字 見取	幕ヶ谷遺跡	表採	滑石	5C 後	C	有		鈴木久雄・川江秀孝ほか 1982『磐田古墳時代遺跡地名表』磐田市教委
365	静岡県袋井市上山梨・ 下山梨					D			宮地麻未 2021「子持勾玉の系統変化」 『玉文化研究』第 5 号
366	静岡県袋井市高尾					D	原野谷川		静岡県 1992『静岡県史 資料編考古 3』
367	静岡県下田市古佐美	吉佐美遺跡		滑石		C	有		外岡龍二 1978「伊豆の祭祀遺跡」『駿豆考古』第 20・21 合併号
368	静岡県伊豆の国市奈 古谷	宮ヶ崎遺跡		滑石		C	有		斎藤宏・小野真一 1962「韮山町奈古谷出土の子持勾玉」 『駿豆考古』6 外岡龍二 1978「伊豆の祭祀遺跡」『駿豆考古』第 20・21 合併号
369	静岡県伊豆の国市長 岡	丸山古墳	主体部外			C			三木文雄 1947「伊豆長岡所在石製模造品出土の遺跡」 『考古学雑誌』34-10
370	静岡県田方郡函南町 上沢大竹	上沢遺跡				C	有		外岡龍二 1978「伊豆の祭祀遺跡」『駿豆考古』第 20・21 合併号
371	静岡県田方郡函南町 上沢藤明	藤明遺跡				D	有 上沢遺跡と同一か		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』 雄山閣
372	静岡県					D	有 伝駿河		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道1』 雄山閣
373	愛知県豊橋市石巻本 町字概割 98	白石遺跡	表採	蛇紋岩		B	有	第 37 図 219	豊橋市教委 1993『白石遺跡』 豊橋市埋蔵文化財調査報告書 15
374	愛知県豊田市加納町 上ノ段	上ノ段遺跡	表採	滑石		C	有		森泰通 1990「上ノ段遺跡採集の子持勾玉について」 『三河考古』3
375	愛知県豊田市鵜鴨町 神明	神明遺跡	SB242 住居跡	滑石	5C 中	A		第 158 図 92	豊田市教委 2001『神明遺跡Ⅱ』 豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 17

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
376	愛知県小牧市一之久田字中島		表採	蛸石か		D	有			小栗鐵次郎 1935 「北里村大字市之久田「子持勾玉」発見地」 『愛知県史蹟名勝文然記念物調査報告』16
377	愛知県東海市名和町三ツ屋	三ツ屋 1 号墳周辺		滑石		C	有			東海市 1971 「三ツ屋の子持勾玉」 『東海市史 資料編 第 1 巻』
378	愛知県田原市保美町平城	保美遺跡		滑石		C	有	保美貝塚か 重圈文		大場磐雄 1972 『神道考古学講座 第 2 巻原始神道 1』雄山閣
379	愛知県	矢作川河床遺跡	表採	滑石		D	有			岐阜市歴史博物館 1990 『企画展 鬼神とまじない』
380	三重県津市大里窪田町字花村	六大 A 遺跡	SD1 溝跡	滑石		A			第 402 図 4529	三重県埋蔵文化財センター 2003 『六大 A 遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財調査報告 115-16
381	三重県津市半田字上村	上村遺跡				C	有			津市教委 1972 『上村遺跡発掘調査報告』
382	三重県津市高野尾町					D	有			大場磐雄 1970 「祭祀遺跡地名表」 『祭祀遺跡』角川書店
383	三重県伊勢市豊川町 279	伊勢神宮 外宮				B	有	豊受大神宮		大場磐雄 1937 「神宮々域発見の子持勾玉と滑石製品」『皇国時報』649
384	三重県伊勢市					D	有	伝度会郡四郷村		相山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
385	三重県松阪市花岡町大字新房					D	有			大場磐雄 1970 「祭祀遺跡地名表」 『祭祀遺跡』角川書
386	三重県鈴鹿市秋永町					D	有			東日本埋蔵文化財研究会 1993 『古墳時代の祭祀』
387	三重県亀山市太岡寺町字大鼻他	大鼻遺跡	SH31 竪穴住居跡	滑石	6C 前	A	有	北西部埋土	第 42 図	三重県埋蔵文化財センター 1994 『大鼻遺跡』三重県埋蔵文化財調査報告 100-5
388	三重県鳥羽市大字答志町					D	有			大場磐雄 1970 「祭祀遺跡地名表」 『祭祀遺跡』角川書店
389	三重県志摩市					D	有	旧志摩町越賀		大場磐雄 1970 「祭祀遺跡地名表」 『祭祀遺跡』角川書店
390	三重県伊賀市坂之下	伊賀国府跡	SD4 溝跡	滑石		B		混入か	第 61 図 528	三重県埋蔵文化財センター 1992 『伊賀国府跡 (第 4 次) 発掘調査報告』三重県埋蔵文化財調査報告 99-4
391	三重県伊賀市	森脇遺跡 (第三次)	R-46 包含層	凝灰岩		B	有		第 46 図 37	三重県教委 1991 『森脇遺跡 (第三次) 発掘調査報告』 三重県埋蔵文化財調査報告 94-4
392	三重県伊賀市	森脇遺跡		滑石		D	有	森脇遺跡のもう 1 点と同一か		三重県教委 1991 『森脇遺跡 (第三次) 発掘調査報告』 三重県埋蔵文化財調査報告 94-4
393	三重県度会郡大紀町	白井宮遺跡他		滑石		D	有	旧紀勢町錦		大場磐雄 1970 「祭祀遺跡地名表」 『祭祀遺跡』角川書店
394	三重県度会郡大紀町					D	有	旧紀勢町錦		東日本埋蔵文化財研究会 1993 『古墳時代の祭祀』
395	三重県南伊勢町					D	有	旧南島町		大場磐雄 1970 「祭祀遺跡地名表」 『祭祀遺跡』角川書店
396	三重県					D	有	伊勢国久居保田		東日本埋蔵文化財研究会 1993 『古墳時代の祭祀』
397	滋賀県大津市滋賀里・貝世・蓮池町・際川	滋賀里遺跡	Ⅲ E 区 谷 黒色泥砂層	滑石	5C 後	B	有	祭祀関連 國學院集成の湖西線関連遺跡と同一か	挿図 24CS31	滋賀県教委 1973 『湖西線関係遺跡調査報告 書本文編』
398	滋賀県大津市南滋賀	南滋賀遺跡				C	有			相山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
399	滋賀県大津市南志賀一丁目					D	有	志賀小学校敷地内 重文		相山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
400	滋賀県彦根市西今町 380 番地	福満遺跡	土壇 C	滑石		A	有	重文	図 7-57	彦根市教委 1982 『福満遺跡』 彦根市埋蔵文化財調査報告 04
401	滋賀県彦根市竹ヶ鼻町四反地 252 - 1 他	竹ヶ鼻廃寺第 2 次	不明			C			図無し	彦根市教委 1985 『竹ヶ鼻廃寺・品井戸遺跡 (第 4 次)』 彦根市埋蔵文化財調査報告第 8 集 彦根市教委 1993 『竹ヶ鼻廃寺発掘調査報告書』彦根市埋蔵文化財調査報告第 21 集
402	滋賀県長浜市高月町 高月	高月南遺跡				C	有			黒坂秀樹 1990 「近江における弥生玉作研究ノート」『滋賀考古』 3
403	滋賀県長浜市内保町	浅井中学校遺跡	包含層	滑石	5C ?	C	有			長浜市立長浜城歴史博物館 1992 『特別展まじない・まつり・いのり』
404	滋賀県長浜市高月町 高月	エンノコシ遺跡		滑石		C	有			黒坂秀樹 1990 「近江における弥生玉作研究ノート」『滋賀考古』 3
405	滋賀県長浜市高月町 高月	千塚遺跡		滑石		C	有			黒坂秀樹 1990 「近江における弥生玉作研究ノート」『滋賀考古』 3
406	滋賀県長浜市高月町 横山			滑石		D	有	高月町横山採集		黒坂秀樹 1990 「近江における弥生玉作研究ノート」『滋賀考古』 3
407	滋賀県草津市西矢倉 2 丁目	中畑遺跡				D				草津市教委 2003 『草津川放水路関連遺跡発掘調査報告書 4』 草津市文化財調査草津市文化財調査報告書 49
408	滋賀県草津市西浜川 1 丁目	門ヶ町遺跡 第 22 次				D				草津市教委 2014 『門ヶ町遺跡第 22 次発掘調査報告書 (平成 25 年度調査)』草津市文化財調査報告書 102
409	滋賀県草津市御倉町	御倉遺跡				C	有			相山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
410	滋賀県栗東市中沢	下釣遺跡	土坑		5C 後	A				第 54 回埋蔵文化財研究集会 2005 『古墳時代の滑石製品—その生産と消費—』
411	滋賀県米原市高溝	法勝寺遺跡		滑石		D	有			滋賀県教委 1990 『法勝寺遺跡』 ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 17-1
412	京都府京都市右京区西院月双町 9	西京極遺跡				C		平安京京五条四坊十二町		古代文化調査会 2010 『平安京京五条四坊十二町・西京極遺跡』
413	京都府京都市右京区山ノ内西裏町	山ノ内遺跡	河川跡	滑石	5C ?	B	有			京都市 1983 『史料 京都の歴史第 2 巻考古』
414	京都府舞鶴市女布	女布遺跡		滑石		C	有			平良泰久 1976 『向日市森本町山開古墳とその出土遺物』『京都考古』 19
415	京都府亀岡市馬路町 高戸・久保前	池尻遺跡	SD01 溝跡最下層	滑石	5C ?	A			第 85 図	京都府埋蔵文化財調査研究センター 2007 『京都府遺跡調査概報』第 123 冊
416	京都府向日市森本町 山開	山開古墳	SX6308	蛇紋岩	5C 中	A	有	長岡京跡 7NA7C 地区		平良泰久 1976 『向日市森本町山開古墳とその出土遺物』『京都考古』 19
417	京都府木津川市加茂町 樋用	恭仁遺跡	包含層	滑石		B	有	恭仁京跡か		京都府教委 1992 『埋蔵文化財発掘調査概報』
418	大阪府大阪市中央区	難波宮跡	東地区竪穴	暗緑灰色	7C	A	有		Fig10-6	難波宮址顕彰会ほか 1965 『難波宮の研究』 『研究予察報告書』第 5 第 2 部

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
419	大阪府大阪市中央区	難波宮跡	MP-1 下層包含層	滑石	6C 後 ～7C	A	有	須惠器坏身蓋の内部に白 玉2点とともに納められ ていた。	Fig4	高速大阪東大阪線難波宮址調査会 1978『難波宮址発掘 調査概報』
420	大阪府大阪市中央区	難波宮跡	2E区第9層	滑石		B	有		Fig93-92	大阪市文化財協会 1992『難波宮址の研究第九』
421	大阪府大阪市中央区	難波宮跡		滑石		C	有			相山林総編 2002『子持勾玉資料集成』
422	大阪府大阪市中央区	難波宮跡		滑石		C	有			相山林総編 2002『子持勾玉資料集成』
423	大阪府大阪市天王寺 区清水谷・中央区石 町・船越町・農人町・ 大手前・内淡路町	大坂城跡	SD05 溝跡	不明	7C 中 以前	A		完形 重圈文	図 137	大阪市文化財協会 1999『大阪市埋蔵文化財発掘調査報 告 1996 年度』
424	大阪府大阪市平野区 長吉長原	長原遺跡	SD52 溝跡	滑石	6C 前 ～中	A	有		図 87-574	大阪市文化財協会 1993『長原・瓜破遺跡発掘調査報告 V』
425	大阪府大阪市平野区 長吉長原	長原遺跡	基本層 7 層	滑石	6C ?	B	有		図 87-575	大阪市文化財協会 1993『長原・瓜破遺跡発掘調査報告 V』
426	大阪府大阪市平野区 長吉長原西・長吉長 原	長原遺跡	SK601 土坑		6C 前 ～中	A	有		48-213	大阪市文化財協会 2000『長原・瓜破遺跡発掘調査報告 XV』
427	大阪府大阪市東住吉 区桑津 5丁目	桑津遺跡				C				大阪市文化財協会 1998『桑津遺跡発掘調査報告』
428	大阪府大阪市住吉区 山之内・杉本・浅香・ 我孫子東・遠里小野	山之内遺跡	攪乱	滑石	5C 末	B		一部欠	図 231-705	大阪市文化財協会 1998『山之内遺跡発掘調査報告』
429	大阪府堺市南区桃山 台 3 丁	野々井 9 号墳	周溝	滑石	5C 中	A	有		第 143 図	大阪府教委 1987『陶邑 VI』大阪府文化財調査報告 35
430	大阪府堺市南区和田・ 豊田	深田橋遺跡	SD001 溝跡	滑石	5C 後	A	有			大阪文化財センター 1973『陶邑・深田』 堺市教委 1992『堺市文化財調査概要報告』 27
431	大阪府堺市西区菱木	山田北遺跡	土坑	滑石	6C	A	有			服部文章 1990『山田北遺跡の調査』『第 21 回大阪府 下埋蔵文化財研究会資料』
432	大阪府堺市北区百舌 鳥赤畑	カトンボ山古墳	主体部	滑石	5C 中	A	有	2 個連結		森浩一 1949『堺市百舌鳥赤畑カトンボ古墳の研究』古 代学研究
433	大阪府堺市北区百舌 鳥赤畑	カトンボ山古墳	主体部	滑石	5C 中	A	有			森浩一 1949『堺市百舌鳥赤畑カトンボ古墳の研究』古 代学研究
434	大阪府堺市北区百舌 鳥赤畑	カトンボ山古墳	主体部	滑石	5C 中	A	有			森浩一 1949『堺市百舌鳥赤畑カトンボ古墳の研究』古 代学研究
435	大阪府堺市北区百舌 鳥赤畑	カトンボ山古墳	主体部	滑石	5C 中	A	有			森浩一 1949『堺市百舌鳥赤畑カトンボ古墳の研究』古 代学研究
436	大阪府堺市北区百舌 鳥古鳥南町	土師遺跡	C地区 SK-CO69 土坑	滑石	6C 中	A	有			堺市教委 1992『堺市文化財調査概要報告』 27
437	大阪府堺市北区百舌 鳥百舌鳥南町	土師遺跡	住居跡		5C 後	A				堺市教委 1992『堺市文化財調査概要報告』 27
438	大阪府堺市美原区多 治井・大阪府羽曳野 市河原城	河原城遺跡	溝跡	滑石		C				大阪府文化財調査研究センター 2000『河原城遺跡発掘 調査報告書 1』大阪府文化財調査研究センター調査報 告書 52

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 立 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
439	大阪府堺市	榊神社跡		滑石		D	有			榊山林継編 2002『子持勾玉資料集成』
440	大阪府堺市美原区大保					D	有			森浩一 1949「子持勾玉の研究」『古代学研究』1
441	大阪府豊中市庄内栄町2丁目29-2番地	島田遺跡第3次	落ち込み東側肩部付近の第6層	滑石	6C	B	有		第4図17	豊中市教委 1985『豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 1984年度』 豊中市文化財調査報告 14
442	大阪府吹田市垂水町3-8-5	垂水南遺跡 [19]	包含層			B	有	子持勾玉？	第22図7	吹田市教委 1984『昭和58年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報』
443	大阪府和泉市・高石市・泉大津市	大園遺跡	包含層	滑石	5C 後	C	有	和泉市いずみの国歴史館		大阪府教委 1981『大園遺跡発掘調査概要 V・VI』
444	大阪府和泉市・高石市・泉大津市	大園遺跡	包含層	滑石	5C 末 ～6C 中	C	有	和泉市いずみの国歴史館		大阪府教委 1981『大園遺跡発掘調査概要 V・VI』
445	大阪府泉大津市豊中七ノ壺	豊中遺跡			6C	C	有			豊中・古池遺跡調査会 1976『豊中・古池遺跡 (そのⅢ)』
446	大阪府高槻市	今城塚古墳	外濠北東部採集	滑石	6C 前 ～中	B			図2	西村恵洋 2003『今城塚古墳外濠採集の子持勾玉』 『高槻市文化財年報』平成13・14年度 高槻市教育委員会
447	大阪府茨木市畑田町	郡遺跡 [6]	A-20 包含層	滑石	6C 初 ～中	B			図10	茨木市教委 1978『茨木市郡遺跡発掘調査概報』
448	大阪府八尾市福万寺町	池島遺跡				C	有			大阪府教委 1986『池島遺跡発掘調査概要 J』
449	大阪府八尾市跡部北の町・春日町1丁目	跡部遺跡 第33次	SD205 溝跡	滑石	5C 後	A			図9	八尾市文化財調査研究会 2003『八尾市文化財調査研究会報告 75』
450	大阪府八尾市緑が丘	萱振遺跡	不明			C		旧八尾競馬場	図無し	八尾市文化財調査研究会 2011『八尾市文化財調査研究会報告 133』
451	大阪府八尾市福万寺町	池島・福万寺遺跡	検出面第8a層	滑石		B	有	平安時代の耕作土出土品が2個体接合	図Ⅳ-120	大阪府文化財センター 2002『池島・福万寺遺跡 2』大阪府文化財センター報告書 76
452	大阪府八尾市福万寺町	池島・福万寺遺跡	井戸 47	滑石	6C 中	A	有		図Ⅳ-100	大阪府文化財センター報告書 76
453	大阪府八尾市恩智北・南町	恩智遺跡		滑石		C	有			瓜生堂遺跡調査会 1980『恩智遺跡』 八尾市文化財調査研究会 1989『八尾市埋蔵文化財発掘調査報告』
454	大阪府寝屋川市昭栄町・出雲町	長保寺遺跡	北調査区北側第V層	滑石	5C～6C	B			図版 80	寝屋川市教委 1993『長保寺遺跡』寝屋川市文化財資料 19
455	大阪府四條畷市砂・大阪府寝屋川市新家・讀良東町	讀良郡条里遺跡 2011-1次・2013-1次	検出面	滑石		B			図 399-1	四條畷市教委 2015『讀良郡条里遺跡』四條畷市文化財調査報告 / 寝屋川市文化財資料 / 大阪府文化財センター調査報告書 50/28/252
456	大阪府四條畷市砂・大阪府寝屋川市新家・讀良東町	讀良郡条里遺跡 2011-1次・2013-1次	検出面	滑石		B			図 444-31	四條畷市教委他 2015『四條畷市文化財調査報告 / 寝屋川市文化財資料 / 大阪府文化財センター調査報告書 50/28/252：讀良郡条里遺跡』
457	大阪府寝屋川市太秦高塚町周辺	太秦古墳群		滑石		C				第54 回埋蔵文化財研究集会 2005『古墳時代の滑石製品—その生産と消費—』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
458	大阪府寝屋川市太秦 高塚町周辺	太秦古墳群		滑石		C				第 54 回埋蔵文化財研究集会 2005 『古墳時代の滑石製品―その生産と消費―』
459	大阪府河内長野市原 町 396-3	小楤遺跡	包含層	滑石	6C 後	B			第 7 図 23	河内長野市教委 1993『河内長野市埋蔵文化財調査報告 書 9』河内長野市文化財調査報告書 24
460	大阪府松原市	立部遺跡		滑石		C				大阪府文化財センター 2020『新堂遺跡』 松原市文化財報告 8/(公財)大阪府文化財センター調査 報告書 303
461	大阪府松原市上田	丹比紫龍宮址				D				大阪府文化財センター 2002『池島・福万寺遺跡 2』大 阪府文化財センター報告書 76
462	大阪府大東市寺川 5	寺川遺跡	河川跡	滑石	6C	B				大阪府教委 1997『寺川遺跡発掘調査概要 1』 大阪府教委 1998『大阪府教委文化財調査事務所年報 1』
463	大阪府柏原市平野・ 大泉	大泉遺跡	黒灰色粘質土			B	有		図 32-451	柏原市教委 1988『大泉遺跡:1985 年度』柏原市文化 財概報 1988-2
464	大阪府柏原市太平寺 2 丁目	観音寺遺跡	土坑			C				大阪府文化財調査研究センター 1998『観音寺遺跡』 大阪府文化財調査研究センター調査報告書 34
465	大阪府羽曳野市島泉 5 丁目	島泉北遺跡	土器集中		5C 後 ～末	A			図 14	羽曳野市教委 2008『古市遺跡群 XXIX』 羽曳野市埋蔵文化財調査報告書 60
466	大阪府羽曳野市古市 1 丁目 2-5	古市遺跡	SD05 溝跡	滑石	6C	A		完形	図 45-130	羽曳野市教委 2013『羽曳野市内遺跡調査報告書―平成 22 年度―』
467	大阪府羽曳野市古市 1 丁目 2-5	古市遺跡			5C	C				羽曳野市埋蔵文化財調査報告書 72
468	大阪府羽曳野市誉田 6・7 丁目	茶山遺跡	包含層		5C	C				羽曳野市教委 2013『羽曳野市内遺跡調査報告書―平成 22 年度―』羽曳野市埋蔵文化財調査報告書 72
469	大阪府藤井寺市道明 寺	土師の里遺跡	D 区 竪穴住居跡	滑石	5C 後	A	有			大阪府教委 1980『土師の里遺跡発掘調査概要 II』
470	大阪府藤井寺市道明 寺 6-487-1	土師の里遺跡	溝跡	滑石		C	有			大阪府教委 1980『土師の里遺跡発掘調査概要 II』
471	大阪府藤井寺市道明 寺	土師の里遺跡	溝跡	滑石		C	有			大阪府教委 1980『土師の里遺跡発掘調査概要 II』
472	大阪府藤井寺市道明 寺	土師の里遺跡	D 区 溝	片岩		C	有			大阪府教委 1980『土師の里遺跡発掘調査概要 II』
473	大阪府藤井寺市	潮音寺北古墳	周溝			C				桃崎祐輔 2013『九州出土子持勾玉研究入門』 『福岡大学考古学論集 2』
474	大阪府藤井寺市	潮音寺北古墳	周溝			C				桃崎祐輔 2013『九州出土子持勾玉研究入門』 『福岡大学考古学論集 2』
475	大阪府藤井寺市	潮音寺北古墳	周溝			C				桃崎祐輔 2013『九州出土子持勾玉研究入門』 『福岡大学考古学論集 2』
476	大阪府東大阪市上四 条町・客坊町	山畑 22 号墳	第 1 次埋葬 玄室中央部	滑石	6C 末 ～ 7C 初	A		副葬品	第 22 図	東大阪市教委 1973『山畑古墳群 1』 東大阪市文化財調査報告書 1

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
477	大阪府東大阪市南四 条町	えの木塚古墳				D				大阪府文化財センター 2002『池島・福万寺遺跡 2』 大阪府文化財センター報告書 76
478	大阪府東大阪市	木塚古墳				B				東大阪府教委 1996『東大阪市の古墳 わが町再発見』
479	大阪府東大阪市西石 切町	神並遺跡	包含層第 7 層	滑石	7C 後	B		奈良時代から中世の遺物 と共伴	第 29 図 173	東大阪府文化財協会 1992『神並遺跡 XIII』
480	大阪府東大阪市横小 路町	貝花遺跡		滑石		C				東大阪府文化財協会 1985『東大阪府文化財協会ニュー ス』 6-3
481	大阪府東大阪市	大賀世古墳				C				大阪府文化財センター 2002『池島・福万寺遺跡 2』 大阪府文化財センター報告書 76
482	大阪府東大阪市瓜生 堂	瓜生堂遺跡		滑石		C				東大阪府文化財協会 1989『東大阪府文化財協会概報集』 1988 年度
483	大阪府東大阪市瓜生 堂	瓜生堂遺跡		滑石		C				東大阪府文化財協会 1989『東大阪府文化財協会概報集』 1988 年度
484	大阪府東大阪市金物 町・友井 5 丁目	友井東遺跡	河川跡	滑石	5C ?	B				東大阪府文化財協会 1989『東大阪府文化財協会概報集』 1988 年度
485	大阪府東大阪市西堤 学園町 3 丁目	西堤遺跡	包含層第 7 層	滑石		B		未製品	Fig77-88	東大阪府文化財協会 1999『西堤遺跡第 5 次発掘調査報 告書』
486	大阪府四條畷市中野	中野遺跡	落込み 2			B			第 8 図 22	四條畷市教委 2000『四條畷市埋蔵文化財調査報告：四 條畷小学校内遺跡・中野遺跡発掘調査概要報告書』
487	大阪府四條畷市岡山 東 1 丁目	岡山南遺跡 2015-1 次	河川 11	滑石	6C 中	A			第 18 図 56	四條畷市教委 2016『四條畷市文化財調査年報 3』 四條 畷市文化財調査報告 52
488	大阪府四條畷市部屋・ 砂	部屋北遺跡	自然流路 470		6C 後	B			624-16	大阪府教委 2010『部屋北遺跡 I』 大阪府埋蔵文化財調 査報告 2009-3
489	大阪府四條畷市部屋・ 砂	部屋北遺跡				B			624-17	大阪府教委 2010『部屋北遺跡 I』 大阪府埋蔵文化財調 査報告 2009-3
490	大阪府交野市向井田	私部南遺跡	掘立柱建物跡 15	滑石	6C 前	A			図 157-845	大阪府文化財センター 2011『私部南遺跡Ⅲ・有池遺跡・ 上私部遺跡・上の山遺跡』 大阪府文化財センター調査報告書 215
491	大阪府交野市向井田	私部南遺跡	7 区 338 ピット	滑石		A			図 479-8	大阪府文化財センター 2011『私部南遺跡Ⅱ』 大阪府文化財センター調査報告書 207
492	大阪府交野市向井田	私部南遺跡	谷 1 4 層	滑石	5C 後	B			図 330-604	大阪府文化財センター 2011『私部南遺跡Ⅲ・有池遺跡・ 上私部遺跡・上の山遺跡』 大阪府文化財センター調査報告書 215
493	大阪府南河内郡河南 町寛弘寺	寛弘寺遺跡	表採	滑石		C				大阪府教委 1994『寛弘寺遺跡発掘調査概要ⅩⅢ』
494	兵庫県神戸市西区伊 川谷町上脇	上脇遺跡	A 地区包含層	滑石		B			図版 192-S33	兵庫県教委埋蔵文化財調査事務所 2002『上脇遺跡 1』 兵庫県文化財調査報告 232
495	兵庫県神戸市垂水区 五色山	五色塚古墳	W Ⅲ 後円部トレンチ	滑石	6C 後	B	有		図 5-106-418	神戸市教委 2006『史跡五色塚古墳 小遺古墳 発掘調 査・復元整備報告書』 神戸市教委事務局社会教育部文化課 1987『史跡五色塚 古墳復元・整備事業概要』 神戸市教委
496	兵庫県神戸市垂水区 五色山	五色塚古墳	W Ⅲ 後円部トレンチ	滑石	6C 後	B	有		図 5-106-419	神戸市教委 2006『史跡五色塚古墳 小遺古墳 発掘調 査・復元整備報告書』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 立 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
497	兵庫県神戸市垂水区 五色山	五色塚古墳	表採	滑石	6C 後	C	有		図 5-106-420	神戸市教委 2006 『史跡五色塚古墳 小壺古墳 発掘調査・復元整備報告書』
498	兵庫県神戸市垂水区 五色山	五色塚古墳	表採	滑石	6C 後	C	有		図 5-106-421	神戸市教委 2006 『史跡五色塚古墳 小壺古墳 発掘調査・復元整備報告書』
499	兵庫県神戸市東灘区 御影町郡家・御影	郡家追跡 城の前方地区 第 7 次調査	河道 2	滑石	5C 末	A	有		Fig.186 出土状況写真	藤井直也 1992 『郡家遺跡』 大手前女子大学史学研究会 神戸市教委 1987 『昭和 59 年度神戸市埋蔵文化財年報』 神戸市教委
500	兵庫県神戸市	上沢遺跡	溝跡			D	有			梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
501	兵庫県神戸市西区玉 津町新方字西方	新方遺跡野手西方 地区		滑石	5C ?	D				白水遺跡調査団 1997 『白水遺跡 94 ～ 96』
502	兵庫県姫路市延未小 山	小山 V 地点遺跡		滑石	5C ?	C	有			今里幾次 1969 「播磨弥生土器の動態」 『考古学研究』 16-2
503	兵庫県西宮市高畑町 20-13	高畑町遺跡	SH6 竪穴住居跡	滑石	6C 後	A			第 3 図-S2	兵庫県教委埋蔵文化財調査事務所 1999 『高畑町遺跡 2』 兵庫県文化財調査報告 182
504	兵庫県芦屋市	三条岡山遺跡	第 8 トレンチ 祭祀遺構	滑石	7C 中 ～後	A	有		第 5 図 4	村川義典 2012 「芦屋市三条岡山遺跡の祭祀遺構」 『菟原Ⅱー森岡秀人さん還暦記念論文集ー』
505	兵庫県芦屋市月若町	月若遺跡	溝跡	緑色凝灰岩	6C 前	C	有			芦屋市教委 1986 「月若遺跡第 1 地点」 『埋蔵文化財調 査メモリアル』 80 ～ 85 芦屋市文化財調査報告書 10
506	兵庫県豊岡市日高町 久斗	南構遺跡				D				兵庫県まちづくり技術センター 2019 『尼ヶ宮古墳群』 兵庫県文化財調査報告 501
507	兵庫県西脇市寺内字 西山	寺内 7 号墳	羨道溝	滑石	6C 後 ～ 7C 初	A				西脇市教委他 2004 『寺内古墳群』 西脇市文化財調査報 告書 13
508	兵庫県小野市	奥の古墳				D	有			梶山林継編 2002 『子持勾玉資料集成』
509	兵庫県丹波市大新屋	新井神社		滑石		D	有	伝柏原出土		井守徳男 1980 「氷上郡柏原町新井神社蔵の子持勾玉」 『兵庫考古』 11
510	兵庫県丹波市春日町 黒井					D	有			大場磐雄・鈴木敏弘ほか 1975 『武蔵伊興』
511	兵庫県南あわじ市志 知	雨流遺跡	河川跡	滑石	5C 末	B	有			長谷川真・藤田淳ほか 1990 『雨流遺跡』 兵庫県文化財 調査報告 78
512	兵庫県朝来市柿坪	馬場 17 号墳	主体部	滑石	5C 後	A	有			兵庫県立考古博物館 2008 『柿坪遺跡』 兵庫県文化財調 査報告 336
513	兵庫県揖保郡太子町	亀田遺跡 I 地点	SD1004 西岸底	不明	6C 後	A		完形	図版 104 - 12	兵庫県教委 2000 『亀田遺跡第 2 分冊』 兵庫県文化財 調査報告 209
514	奈良県奈良市	平城京朱雀大路	朱雀大路西側溝 SD2600 上層の包 含層			B		平城京朱雀門周辺・朱雀 大路・二条大路の調査 第 552 次・第 566 次・第 577 次・第 578 次	図 219-1	奈良文化財研究所 2017 『奈良文化財研究所紀要 2017』
515	奈良県大和郡山市			滑石		D	有			直良信夫 1929 「子持勾玉の研究」 『史学』 8-3
516	奈良県天理市前栽町	九ノ坪・シマダ遺 跡	SD1 溝跡	滑石	5C ?	A			図 1 SD1	天理市教委 1983 『天理市前栽町九ノ坪・シマダ遺跡発 掘調査概報』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 大 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
517	奈良県天理市杣之内 町本堂方	布留遺跡杣之内地 区		滑石	5C ?	C	有			布留遺跡天理教発掘調査団 1981 『布留遺跡杣之内本堂方地区発掘調査概要』
518	奈良県天理市布留町 西小路	布留遺跡西小路地 区				D	有			森田健治 1930 「大和発見の櫛形勾玉」『考古学』1-3
519	奈良県天理市豊田	布留遺跡豊田地区				D	有			森田健治 1928 「大和丹波市の上代遺蹟」『考古学雑誌』 18-10
520	奈良県天理市朝和					D	有			島本一 1933 「子持勾玉の新例」『考古学雑誌』23-7
521	奈良県天理市			滑石		D		山中		島本一 1933 「子持勾玉の新例」『考古学雑誌』23-7
522	奈良県橿原市繩手町	藤原京西方官衙地 区	SE1300 井戸跡		7C 後	A	有			奈良国立文化財研究所 1978 『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ』奈良国立文化財研究所 学報 31
523	奈良県橿原市曾我町	曾我遺跡				D	有			関川尚功 1983 『曾我遺跡調査簡報』奈良県立橿原考古 学研究所
524	奈良県橿原市新賀町 明寺・葛本町・常盤 町	下明寺遺跡		滑石	5C ?	C				橿原市教委 1985 『橿原市埋蔵文化財調査概要 2：岩船 横穴墓群・中曾司遺跡・坪井遺跡・下明寺遺跡発掘調 査概報昭和 59 年度』 橿原市教委 1986 『橿原市埋蔵文化財調査概要 3：下明 寺遺跡・岩船横穴墓群・千塚山遺跡発掘調査概報』
525	奈良県桜井市栗殿 1000	松之本遺跡	SX1 落ち込み	滑石	6C 後	A			図 23-265	橿原考古学研究所 2014 『松之本遺跡第 4 次調査』 奈良県文化財調査報告書 163
526	奈良県桜井市栗殿 1000	松之本遺跡	SX1 落ち込み	滑石	6C 後	A			図 23-266	橿原考古学研究所 2014 『松之本遺跡第 4 次調査』 奈良県文化財調査報告書 163
527	奈良県桜井市栗殿 1000	松之本遺跡	SX1 落ち込み	滑石	6C 後	A			図 23-267	橿原考古学研究所 2014 『松之本遺跡第 4 次調査』 奈良県文化財調査報告書 163
528	奈良県桜井市栗殿 1000	松之本遺跡	SX1 落ち込み	滑石	6C 後	A			図 23-268	橿原考古学研究所 2014 『松之本遺跡第 4 次調査』 奈良県文化財調査報告書 163
529	奈良県桜井市栗殿 1000	松之本遺跡	SX1 落ち込み	滑石	6C 後	A			図 23-269	橿原考古学研究所 2014 『松之本遺跡第 4 次調査』 奈良県文化財調査報告書 163
530	奈良県桜井市栗殿 1000	松之本遺跡	SX1 落ち込み	滑石	6C 後	A			図 23-270	橿原考古学研究所 2014 『松之本遺跡第 4 次調査』 奈良県文化財調査報告書 163
531	奈良県桜井市阿部	阿部六ノ坪遺跡	沼縁辺	滑石	5C 後 ～6C 前	B	有			関川尚功 1983 「阿部六ノ坪遺跡」『大和を掘る』1982 年度
532	奈良県桜井市三輪茶 臼山	大神神社境内禁足 地		滑石		C	有			岡幸二郎 1963 「桜井市三輪大神神社禁足地出土子持勾 玉」『奈良県文化財調査報告書』第 6 集
533	奈良県桜井市三輪茶 臼山	大神神社境内禁足 地		滑石		C	有			岡幸二郎 1963 「桜井市三輪大神神社禁足地出土子持勾 玉」『奈良県文化財調査報告書』第 6 集
534	奈良県桜井市三輪茶 臼山	大神神社境内禁足 地		滑石		C	有			寺沢薫 1984 「三輪山麓出土の子持勾玉をめぐって」 『大神神社境内地発掘調査報告書』
535	奈良県桜井市三輪	大神神社境内禁足 地		滑石		C	有			寺沢薫 1984 「三輪山麓出土の子持勾玉をめぐって」 『大神神社境内地発掘調査報告書』
536	奈良県桜井市三輪	大神神社三ツ鳥居 下		滑石		C	有			日名子元雄ほか 1960 『重要文化財大神神社拜殿及び三 ツ鳥居下、修理工事報告』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 学 院	備 考	出 典 図	出 典
537	奈良県桜井市三輪	大神神社				D	有	「大和三輪山所出」 「山中出土」		藤貞幹 1807『集古図』第7巻陶器部
538	奈良県桜井市三輪	大神神社				D	有	「大和三輪山所出」 「山中出土」		藤貞幹 1807『集古図』第7巻陶器部
539	奈良県桜井市三輪	大神神社				D	有	「大和三輪山所出」 「山中出土」		藤貞幹 1807『集古図』第7巻陶器部
540	奈良県桜井市三輪	大神神社				D	有	「大和三輪山所出」 「山中出土」		藤貞幹 1807『集古図』第7巻陶器部
541	奈良県桜井市三輪	大神神社				D	有	「和州三輪」		木内石亭 1801『雲根志』3篇巻5
542	奈良県桜井市三輪	大神神社				D	有	「和州三輪」		木内石亭 1801『雲根志』3篇巻5
543	奈良県桜井市三輪	大神神社か				D	有	「三輪山頭」図無し		谷川志清 1774『石剣頭考』
544	奈良県桜井市三輪	大神神社か				D	有	「三輪山頭」図無し		谷川志清 1774『石剣頭考』
545	奈良県桜井市芝	芝遺跡			5C 末 ～ 6C 初	C	有	重圈文		桜井市教委 1987『芝遺跡大三輪中学校改築にともなう 発掘調査報告書』 佐々木幹雄 1985「子持勾玉私考」『古代深叢Ⅱ』
546	奈良県桜井市茅原字 源水・堀田					D	有	大神神社蔵		土井実 1941「子持勾玉の新例」『大和志』8-8
547	奈良県桜井市馬場字 出雲屋敷	山ノ神遺跡		滑石	5C	C	有			高橋健自・西崎辰之助 1920「三輪町大字馬場山ノ神古 墳」『奈良縣史跡勝地調査報告書』第7回
548	奈良県桜井市外山	桜井茶臼山古墳	くびれ部	滑石		A	有			千賀久 1977「桜井茶臼山古墳西側出土の子持勾玉」 『青陵』33
549	奈良県桜井市外山	桜井茶臼山古墳	西側周溝	滑石		A	有			千賀久 1977「桜井茶臼山古墳西側出土の子持勾玉」 『青陵』33
550	奈良県桜井市外山鳥 見山麓					D	有			千賀久 1977「桜井茶臼山古墳西側出土の子持勾玉」 『青陵』33
551	奈良県桜井市芝			滑石		D	有	初瀬川・巻向川合流地点 図無し		小島俊次 1963「大和桜井市外山出土の子持勾玉」 『古代学研究』35
552	奈良県桜井市					D	有	旧桜井小学校跡 図無し		後藤守一 1930「子持勾玉」『考古学講座・石製品』
553	奈良県桜井市多武峰 栗原			滑石		D	有			高橋健自 1929「子持勾玉発見地名表」『考古学講座一 墳輪及装身具』
554	奈良県桜井市三輪					D	有			寺沢薫 1984「三輪山麓出土の子持勾玉をめぐって」 『大神神社境内地発掘調査報告書』
555	奈良県桜井市赤尾	赤尾崩谷古墳群	土坑	滑石		A		須恵器裏内出土	図 6-1	橋本輝彦 2005「三輪山周辺出土の子持勾玉ー赤尾崩谷 古墳群の調査からー」『大和』108号
556	奈良県桜井市赤尾	赤尾崩谷古墳群	土坑	滑石		A		須恵器裏内出土	図 6-2	橋本輝彦 2005「三輪山周辺出土の子持勾玉ー赤尾崩谷 古墳群の調査からー」『大和』108号
557	奈良県桜井市阿部	阿部丘陵遺跡群		滑石		C				桜井市教委 1989『阿部丘陵遺跡群』桜井市教委
558	奈良県桜井市阿部	阿部ノ前地区 安倍寺遺跡ヲビシ 地区		滑石		C				桜井市教委 1986『桜井市安倍寺遺跡ヲビシ地区発掘調 査報告書』
559	奈良県御所市下茶屋	下茶屋遺跡	第3地区 SX01	滑石	7C	B		南郷遺跡群	図 9-2	橿原考古学研究所 2000『南郷遺跡群 4』 奈良県立橿原考古学研究所調査報告 76

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 立 学 院	備 考	出 典 図	出 典
560	奈良県御所市井戸・佐田	佐田遺跡	第2地区河川跡	滑石		B		南郷遺跡群	図7-6	橿原考古学研究所 1994『1993年度奈良県遺跡調査概報』
561	奈良県御所市古瀬字大口	巨勢寺		滑石	5C 末 ～6C 前	C				橿原考古学研究所 2004『巨勢寺』 奈良県立橿原考古学研究所調査報告 87
562	奈良県香芝市下田東3丁目・狐井	下田東遺跡	SE5428 井戸跡	滑石		A		重圏文	図27-104	香芝市教委・二上山博物館 2007『五位堂駅北北第二土地区画整理事業に伴う下田東遺跡発掘調査概報』 香芝市埋蔵文化財発掘調査概報 25
563	奈良県香芝市狐井550	狐井城山古墳	くびれ部		5C 末 ～6C 初	A		重圏文		二上山博物館 2020『葛城の大王墓と太古の祈り』 令和2年度企画展図録
564	奈良県香芝市狐井	狐井稲荷古墳	表採	滑石	5C 後	B				二上山博物館 2020『葛城の大王墓と太古の祈り』 令和2年度企画展図録
565	奈良県磯城郡田原本町唐古127 西隣水路	唐古・鍵遺跡 第59次	SD3101 溝跡	滑石		A			図無し	田原本町教委 1996『田原本町埋蔵文化財調査年報 1994・1995年度』 田原本町埋蔵文化財調査年報 5
566	奈良県磯城郡田原本町唐古	唐古・鍵遺跡 第38次		滑石		C				田原本町教委 2009『唐古・鍵遺跡1 範囲確認調査』 田原本町文化財調査報告書 5
567	奈良県高市郡明日香村豊浦	甘樫丘東麓遺跡第146次	排水溝			B			図134	奈良文化財研究所 2007『奈良文化財研究所紀要 2007』
568	奈良県高市郡明日香村豊浦	甘樫丘東麓遺跡 ―第157・161次	耕作土	滑石		C			図146 - 1	奈良文化財研究所 2010『奈良文化財研究所紀要 2010』
569	奈良県高市郡明日香村飛鳥	飛鳥池東方遺跡 ―第86次	流路 SD010			B				奈良国立文化財研究所 1998『年報2：奈良国立文化財研究所年報 1998』
570	奈良県北葛城郡広陵町沢	箸尾遺跡	円墳周溝	滑石	5C 後	A	有			中井一夫・松田真 1982「広陵町箸尾遺跡発掘調査概要」 『奈良県遺跡調査概報』1980年度
571	奈良県					D	有	「三輪山頭」?		谷川志清 1774『石剣頭考』
572	奈良県					D	有	「三輪山頭」?		谷川志清 1774『石剣頭考』
573	奈良県					D	有	伝大和国		梅原未治 1965「上古の禽獸魚形勾玉」『史学雑誌』 38-1
574	奈良県					D	有	伝大和国		梅原未治 1965「上古の禽獸魚形勾玉」『史学雑誌』 38-1
575	奈良県					D	有	伝大和国		梅原未治 1965「上古の禽獸魚形勾玉」『史学雑誌』 38-1
576	奈良県					D	有	伝大和国		梅原未治 1965「上古の禽獸魚形勾玉」『史学雑誌』 38-1
577	奈良県					D	有	大和国		松浦武四郎 1877・1882『撥雲余興』
578	奈良県					D	有	大和国		松浦武四郎 1877・1882『撥雲余興』
579	奈良県					D	有	大和国		松浦武四郎 1877・1882『撥雲余興』
580	奈良県			滑石		D	有	和州 (奈良県か) 重複の可能性あり	第十五版 第六圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)
581	奈良県			蛇紋岩		D	有	和州 (奈良県か)	第十六版 第一圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
582	奈良県			粘土板石		D	有	和州（奈良県か）	第十六版 第二圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』（1983 復刻）
583	和歌山県和歌山市西庄	西庄遺跡	第 3 b 層	滑石	6C	B		完形	第 11 図	和歌山県文化体育振興事業団 2000『和歌山県内遺跡発掘調査概報』
584	和歌山県和歌山市善明寺	鳴滝 1 号墳	横穴式石室	滑石	6C 後	A	有	善明寺裏山		大場磐雄 1972『神道考古学講座 第 2 巻原始神道 1』雄山閣
585	和歌山県和歌山市秋月	日前神宮・國懸神宮境内				D	有			大場磐雄 1972『神道考古学講座 第 2 巻原始神道 1』雄山閣
586	和歌山県和歌山市秋月	日前神宮・國懸神宮境内				D	有			大場磐雄 1972『神道考古学講座 第 2 巻原始神道 1』雄山閣
587	和歌山県	琴浦神社境内				D	有	和歌山県に琴浦神社はあるか		梶山林継編 2002『子持勾玉資料集成』
588	鳥取県鳥取市高住字青島	青島遺跡		緑色片岩	6C 前	C	有			亀井照人 1964「青島出土の子持勾玉」『郷土と科学』9-2 鳥取県立博物館 米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
589	鳥取県鳥取市高住字青島	青島遺跡		緑色片岩	5C ?	C	有			亀井照人 1964「青島出土の子持勾玉」『郷土と科学』9-2 鳥取県立博物館 米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
590	鳥取県鳥取市高住字青島	青島遺跡				D				米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
591	鳥取県鳥取市気高町矢口字日光坂			滑石	5C ?	D	有			川上貞雄ほか 1960『鳥取県文化財調査報告書 1』考古資料の部 鳥取県教委 米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
592	鳥取県鳥取市気高町浜村					D		贋作の可能性あり		米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
593	鳥取県鳥取市気高町浜村					D				米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
594	鳥取県鳥取市青谷町青谷字上寺地	青谷上寺地遺跡	黒灰色粘質土（基本層Ⅱ層）	蛇紋岩かセリサイト		B			第 116 図 150	鳥取県埋蔵文化財センター 2001『青谷上寺地遺跡 37』鳥取県教育文化財団調査報告書 72
595	鳥取県米子市新山	研石山遺跡 5 区萱原・奥陰田遺跡群	SI15 住居跡	蛇紋岩	6C 前	A			挿図 199-8	米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
596	鳥取県米子市日下	日下遺跡		滑石	5C 後	C	有	日下神社		川上貞雄ほか 1960『鳥取県文化財調査報告書 1』考古資料の部 鳥取県教委 米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
597	鳥取県米子市福市字吉塚	福市遺跡	AI 区 23 号住居址	流紋岩	5C 中 ～後	A	有			大村雅夫 1968『福市遺跡』米子市教委
598	鳥取県倉吉市福積	福積遺跡		滑石		C	有			名越勉「原始・古代」『倉吉市史』1973 米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 学 院 集 成	備 考	出 典 図	出 典
599	鳥取県岩美郡岩美町 真名	真名遺跡	河川跡	シルト岩	5C 後	B	有			川上貞雄ほか 1960『鳥取県文化財調査報告書 1』考古資料の部 鳥取県教委 米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
600	鳥取県東伯郡湯梨浜町高辻	高辻第 1 遺跡		輝緑凝灰岩	5C 中	C	有			東郷町『東郷町史』1987 亀井昭人 1964『青島出土の手持勾玉』『郷土と科学』9-2 鳥取県立博物館
601	鳥取県東伯郡湯梨浜町					D		倉吉～松崎間路上 旧東郷町		米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
602	鳥取県東伯郡湯梨浜町石脇字堀				5C 中～後	D				泊村 1989『泊村誌』1989 米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
603	鳥取県東伯郡琴浦町 槻下字宮前田	宮前田遺跡				D				米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
604	鳥取県東伯郡北栄町 上種			滑石		D	有			馬淵義則ほか 1978『大栄地域遺跡群分布調査報告書』II 大栄町教委 米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
605	鳥取県東伯郡北栄町					D		旧大栄町		米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
606	鳥取県西伯郡大山町 御来屋	御来屋遺跡		滑石		D	有			高橋健自 1928『勾玉と鈴とに就いて』『考古学雑誌』18-7 米子市教育文化事業団 1994『萱原・奥陰田 1』米子市教育文化事業団文化財報告書 7
607	鳥取県西伯郡大山町 平字大谷尻	平遺跡		滑石		D	有	欠損 品		川上貞雄ほか 1960『鳥取県文化財調査報告書 1』考古資料の部 鳥取県教委
608	鳥根県松江市西川津 町字金崎	金崎古墳群 1 号墳	竪穴式石槨	滑石	5C 後	A	有			松江市教委 1978『史跡金崎古墳群昭和 5 2 年度環境整備事業報告書』松江市文化財調査報告書 4 松江市教委 1977『史跡 金崎古墳群』
609	鳥根県松江市西川津 町字金崎	金崎古墳群 1 号墳	竪穴式石槨	滑石	5C 後	A	有			松江市教委 1978『史跡金崎古墳群昭和 5 2 年度環境整備事業報告書』松江市文化財調査報告書 4 松江市教委 1977『史跡 金崎古墳群』
610	鳥根県松江市乃木福 富町字二名留	二名留古墳群 2 号 墳	主体部上	緑泥石化 熱水変質岩	5C 後	A	有		第 13 図	松江市教委 1992『二名留古墳群発掘調査報告書』松江市文化財調査報告書 50
611	鳥根県松江市福原町 中嶺	中嶺遺跡	石群	滑石		A			図 127-3	鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター 2007『国道 431 号道路改築事業(川津バイパス)に伴う埋蔵文化財調査報告書 8 : 東前田遺跡 大谷口遺跡 中嶺遺跡 金クソ谷遺跡 1 区・2 区・3 区』
612	鳥根県松江市上本庄 町	松江北東部遺跡 7 工区佐波第 1 調査区	遺物包含層	滑石		B	有	欠損	21 頁 (写真)	松江市教委 1999『松江北東部遺跡発掘調査報告書』松江市文化財調査報告書 78
613	鳥根県松江市玉湯町 玉造	出雲玉作跡		滑石	5C 中～後	C	有			山本清ほか 1972『史跡出雲玉作跡一発掘調査概報一』玉湯町教委

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 立 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
614	島根県安来市佐久保町	岩屋口南遺跡	S101 掘立柱建物	緑色片岩	6C 中～後	A			第 25 図 2	島根県教委文化財課埋蔵文化財調査センター 1996『岩屋口南遺跡 8』
615	岡山県岡山市藤原光町 3-14	原尾島遺跡	溝 19	滑石		A			第 65 図 B56	岡山県教委 1999『原尾島遺跡 (藤原光町 3 丁目地区)』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 139
616	岡山県岡山市藤原光町 3-14	原尾島遺跡	柱穴	滑石		A			第 65 図 B57	岡山県教委 1999『原尾島遺跡 (藤原光町 3 丁目地区)』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 139
617	岡山県岡山市原尾島	百間川原尾島遺跡	溝 29	滑石	5C 末～6C 初	B		重圏文	第 187 図-J17	岡山県古代吉備文化財センター 1996『百間川原尾島遺跡 5』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 106
618	岡山県岡山市津寺	津寺遺跡	包含層 (C135～146) 掘立柱建物跡 15	滑石	5C ?	B		欠損	第 218 図 J35	岡山県古代吉備文化財センター 1997『津寺遺跡 4』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 116
619	岡山県総社市南溝手	大文字遺跡 (栢寺廃寺)		緑色片岩	6C 後	C				第 54 回埋蔵文化財研究集会 2005『古墳時代の滑石製品ーその生産と消費ー』
620	岡山県勝田郡勝央町植月東			緑泥片岩		D	有			今井莞 1967『美作植月東出土の子持勾玉』『古代吉備』6
621	広島県広島市安佐北区口田南 7 丁目 5 7 1	大久保古墳	1 号主体部 2 次床面	滑石	5C 後	A	有	完形	第 2-10 図 34	広島県埋蔵文化財調査センター 1987『山陽自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 (4)』広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書 55
622	広島県福山市神辺町鶏野	前田遺跡		滑石		D	有	福山市に前田遺跡はあるか		豊元国 1954『備後品治別神社私考』『広島県の考古学基本調査・府中学報』1
623	広島県福山市春日町小松	春日遺跡		滑石		D	有	福山市に春日遺跡はあるか		豊元国 1954『備後品治別神社私考』『広島県の考古学基本調査・府中学報』1
624	広島県福山市神村町大野ヶ原	大野ヶ原遺跡		滑石		D	有	福山市に大野ヶ原大野ヶ原遺跡はあるか		広島県教委 1961『広島県埋蔵文化財包蔵地地名表』
625	広島県府中市栗栖町登呂茂	登呂茂遺跡		滑石		C	有			豊元国 1954『備後品治別神社私考』『広島県の考古学基本調査・府中学報』1
626	広島県世羅郡世羅町東神崎	宇根山開拓地遺跡		滑石	6C 後	C	有	『子持勾玉資料集成』の東神崎遺跡か	第 2 図 1	波田一夫・是光吉基 1969『広島県世羅郡東神崎出土の子持勾玉』『考古学ジャーナル』Nn34 ニュー・サイエンス社
627	広島県世羅郡世羅町宇山	宇山遺跡				D				是光吉基 1967『広島県の祭祀遺物』『考古学ジャーナル』No.5 ニュー・サイエンス社
628	山口県下関市豊浦町大字川棚字高野	高野遺跡 南地区	2 C-SX250 包含層	滑石	6C 後	B		完形	Fig110-78	豊浦町教委 1999『高野遺跡 (南地区)』豊浦町の文化財 15
629	山口県宇部市東岐波雁が原					D	有			梶山林総編 2002『子持勾玉資料集成』
630	山口県山口市大字秋穂二島字田ノ尻	美濃ヶ浜遺跡		滑石		C	有			山口県教委 1961『美濃ヶ浜遺跡』『山口県文化財概要第 4 集』
631	山口県山口市大字秋穂二島能ヶ浜					D	有			梶山林総編 2002『子持勾玉資料集成』
632	山口県山口市大内水上仏供田					D	有			梶山林総編 2002『子持勾玉資料集成』
633	山口県山口市朝田・古敷	朝田墳墓群				D				第 54 回埋蔵文化財研究集会 2005『古墳時代の滑石製品ーその生産と消費ー』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
634	山口県山口市阿知須町赤迫	赤迫遺跡 (A 地区)	遺物包含層下層	滑石	6C 後 ～ 7C	B		未製品か	第 55 図 370	山口県埋蔵文化財センター 1998 『神正遺跡 (A 地区)・赤迫遺跡 (A 地区)』山口県埋蔵文化財センター調査報告 8
635	山口県山口市知須町赤迫	赤迫遺跡 (C 地区)				C				山口県埋蔵文化財センター 2000 『赤迫遺跡 (C 地区) 平成 11 年度』
636	山口県山口市知須町赤迫	赤迫遺跡 (C 地区)				C				山口県埋蔵文化財センター調査報告 19
637	山口県山口市知須町赤迫	赤迫遺跡 (C 地区)				C				山口県埋蔵文化財センター 2000 『赤迫遺跡 (C 地区) 平成 11 年度』
638	山口県下松市大字生野屋	常森古墳群				D				山口県埋蔵文化財センター調査報告 19
639	山口県美祢市秋芳町大字秋吉字松ヶ迫	松ヶ迫遺跡				D				第 54 回埋蔵文化財研究集会 2005 『古墳時代の滑石製品—その生産と消費—』
640	徳島県徳島市名東町 1 丁目	名東遺跡	2 次調査包含層	硬質凝灰岩		B			図 209-610	東日本埋蔵文化財研究会 1993 『古墳時代の祭祀』
641	徳島県鳴門市大塚町坂東字辻見堂	坂東遺跡		滑石	5C 後	D	有	鳴門市に坂東遺跡はあるか		徳島県教委 1990 『名東遺跡 (天神地区)』徳島県教委
642	徳島県小松島市田浦町前山	前山古墳		滑石		C	有			秋山泰 1976 「新発見の子持勾玉」『鳴門市史』上
643	徳島県美馬市					D				末永雅雄・森浩一 1963 『前山古墳』徳島県文化財調査報告第 6 集
644	愛媛県松山市南江戸 6 丁目 1586	客谷 8 号墳	1 号周溝			A		客谷古墳群 B 地区	41 図 97	国立歴史民俗博物館 1985 「共同研究 古代の祭祀と信仰—附属祭祀関係遺物出土地名表」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 7 集
645	愛媛県松山市福音寺町 362-1 ほか	福音小学校構内遺跡	SB121 竪穴住居跡	蛇紋岩		A			第 118 図 531	松山市教委 1994 『大峰ヶ台丘陵の遺跡』松山市文化財調査報告書 40
646	愛媛県松山市北井門	北井門遺跡				C				松山市教委 / 松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター 2003 『福音小学校構内遺跡 II』松山市文化財調査報告書 91
647	愛媛県今治市新谷土居	新谷遺跡				C	有			一山典 2018 「四国地方の子持勾玉」『玉文化研究』第 3 号
648	愛媛県今治市新谷土居	新谷遺跡				C				森光晴・八木武弘 1982 「古墳文化の発達と社会の充実」『愛媛県史』原始・古代 I 愛媛県史編さん委員会
649	愛媛県今治市新谷土居	新谷遺跡				C				一山典 2018 「四国地方の子持勾玉」『玉文化研究』第 3 号
650	愛媛県今治市新谷	鷹取神社遺跡				C		鷹取神社境内		一山典 2018 「四国地方の子持勾玉」『玉文化研究』第 3 号
651	愛媛県西条市					D	有	旧東予市		国立歴史民俗博物館 1985 「共同研究 古代の祭祀と信仰—附属祭祀関係遺物出土地名表」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 7 集
										梶山林蔵編 2002 『子持勾玉資料集成』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
652	愛媛県伊予市上三谷・ 松前町鶴吉	上三谷篠田・ 鶴吉遺跡	西五区 SK205	蛇紋岩	5C～ 6C 前	A			図 516-1322	愛媛県埋蔵文化財センター 2018『旗屋遺跡Ⅱ 上三谷 篠田・鶴吉遺跡』 愛媛県埋蔵文化財センター埋蔵文化財発掘調査報告書 第 194 集
653	愛媛県伊予市伊予					D	有			梶山林縄編 2002『子持勾玉資料集成』
654	愛媛県伊予郡松前町 大字横田字中窪	横田遺跡				C	有	文化 13 年 (1816) 出土	図 5	松前町教委 1996『愛媛県松前町横田遺跡Ⅱ区調査報告 書』
655	愛媛県伊予郡松前町 徳丸	徳丸遺跡		滑石		C		松前町に徳丸遺跡はある か		森光晴・八木武弘 1982「古墳文化の発達と社会の充実」 『愛媛県史 原始・古代Ⅰ』愛媛県史編さん委員会
656	愛媛県西宇和郡伊方 町三崎中村	三崎中村遺跡			5C	C	有			森光晴・八木武弘 1982「古墳文化の発達と社会の充実」 『愛媛県史』原始・古代Ⅰ 愛媛県史編さん委員会
657	愛媛県					D		横田		瀬戸内海歴史民俗資料館 1978『瀬戸内海地方祭祀遺跡 地名表』
658	愛媛県					D		南伊予		瀬戸内海歴史民俗資料館 1978『瀬戸内海地方祭祀遺跡 地名表』
659	愛媛県					D		南伊予		瀬戸内海歴史民俗資料館 1978『瀬戸内海地方祭祀遺跡 地名表』
660	高知県土佐市高岡町 乙居徳ほか	居徳遺跡群	Ⅲ B 層		5C 末	B			Fig.163-55	高知県埋蔵文化財センター 2004『居徳遺跡群 6』 高知県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 91
661	高知県土佐市高岡町 明宮寺	明宮寺遺跡				C	有			高知県 1968『高知県史』考古編
662	福岡県北九州市小倉 南区大字長野	長野 A 遺跡	Ⅵ区水田跡	滑石		A	有			佐藤浩司ほか 1984『長野 A・E 遺跡調査概報』 北九州市埋蔵文化財調査報告書 24
663	福岡県北九州市小倉 南区蒲生	蒲生寺中遺跡	2 号土坑墓	滑石	7 C 前	A				北九州市芸術文化振興財団 2004『蒲生寺中遺跡 24』 北九州市埋蔵文化財調査報告書 307
664	福岡県福岡市西区大 字元岡	元岡・桑原遺跡群 第 31 次	O-13 グリッド (谷堀)	滑石		A			図 95-851	福岡市教委 2010『元岡・桑原遺跡群 17』福岡市埋蔵 文化財調査報告書 1103
665	福岡県福岡市西区大 字元岡	元岡・桑原遺跡群 第 31 次	O-13 グリッド (谷堀)	滑石		A			図 95-852	福岡市教委 2010『元岡・桑原遺跡群 17』福岡市埋蔵 文化財調査報告書 1103
666	福岡県福岡市西区石 丸 2 丁目 489	拾六町平田遺跡 第 2 次	2 号祭祀 (埋没 旧河川 SD15)	滑石	5C ?	A			Fig. 1-92	福岡市教委 1993『拾六町平田遺跡 2』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 349
667	福岡県福岡市博多区 竹下 3 丁目 1-1	那珂遺跡群 第 50 次	包含層中層	滑石		B		報文では 7 世紀前葉	Fig. 31-236	福岡市教委 1997『那珂 18』福岡市埋蔵文化財調査報 告書 518
668	福岡県福岡市博多区 竹下 5 丁目	那珂遺跡群 第 70 次	SX002	滑石		B			Fig. 17-45	福岡市教委 2001『那珂 28』福岡市埋蔵文化財調査報 告書 673
669	福岡県福岡市博多区 竹下 5 丁目	那珂遺跡群 第 121 次				D				福岡市教委 2010『福岡市埋蔵文化財年報 23』
670	福岡県福岡市博多区 西月隈 4 丁目	立花寺 B 遺跡 第 4 次・5 次・6 次	SD14 溝跡	滑石	5C 後	B			Fig. 133-926	福岡市教委 2002『立花寺 B 遺跡 2』福岡市埋蔵文化財 調査報告書 702
671	福岡県福岡市博多区 西月隈 4 丁目	立花寺 B 遺跡 第 4 次・5 次・6 次	SD14 溝跡	滑石	5C 後	B			Fig. 133-927	福岡市教委 2002『立花寺 B 遺跡 2』福岡市埋蔵文化財 調査報告書 702

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
672	福岡県福岡市博多区 西月隈 4 丁目	立花寺 B 遺跡 第 4 次・5 次・6 次	SX15	滑石	6C 前	B			Fig. 133-928	福岡市教委 2002 『立花寺 B 遺跡 2』 福岡市埋蔵文化財 調査報告書 702
673	福岡県福岡市博多区 西月隈 4 丁目	立花寺 B 遺跡 第 4 次・5 次・6 次	SX15	滑石	6C 前	B			Fig. 133-929	福岡市教委 2002 『立花寺 B 遺跡 2』 福岡市埋蔵文化財 調査報告書 702
674	福岡県福岡市博多区 西月隈 4 丁目	立花寺 B 遺跡 第 4 次・5 次・6 次	SX15	滑石	6C 前	B			Fig. 133-930	福岡市教委 2002 『立花寺 B 遺跡 2』 福岡市埋蔵文化財 調査報告書 702
675	福岡県福岡市城南区 干隈 2 丁目 482 番 2 号	飯倉 G 遺跡 第 1 次	SK3	滑石		A			Fig. 24-10063	福岡市教委 1993 『干隈遺跡』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 334
676	福岡県福岡市西区大 字飯盛	吉武遺跡群 第 5 次	SK5		5C ?	A			第 32 図 278	福岡市教委 1989 『吉武遺跡群Ⅳ』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 194
677	福岡県福岡市東区三 苦 6・7 丁目	三苦遺跡群第 5 次	SC1255 竪穴建物 跡		6C 後 ～末	A			Fig. 123-6	福岡市教委 2003 『三苦 4』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 773
678	福岡県福岡市西区大 字吉武	吉武遺跡 第 4・6・9 次	SD45 溝跡			A			Fig55-670	福岡市教委 2005 『吉武遺跡群ⅩⅦ』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 864
679	福岡県福岡市東区大 字香椎	香椎 B 遺跡 第 1 次 ～ 6 次		滑石		B		里城地区	Fig194-22	福岡市教委 2000 『香椎 B 遺跡』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 621
680	福岡県福岡市博多区 下月隈 4 丁目	下月隈 C 遺跡 5 次	SS192 水田区画	滑石		A			Fig75-S8	福岡市教委 2005 『下月隈 C 遺跡 5』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 839
681	福岡県福岡市南区 五十川 2 丁目	五十川遺跡 第 10 次	SD2001 溝跡	滑石	7C	A		中世の溝の混入	Fig41-30	福岡市教委 2008 『五十川遺跡 5 五十川遺跡第 10 次・11 次調査の報告』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 1019
682	福岡県福岡市西区梅 林井ノ本			滑石	5C ?	D	有			斎藤義 1931 『北九州発見の子持勾玉』 『考古学』 2-1
683	福岡県福岡市博多区 比恵	比恵遺跡		滑石	5C ?	C	有			九州考古学会 1976 『北九州古文化図鑑』 (2)
684	福岡県福岡市早良区 重留	重留村下遺跡第 1 次	SC-33 竪穴建物跡	滑石	6C 後	A			第 11 図 67	福岡市教委 1997 『重留村下遺跡 四箇遺跡群』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 510
685	福岡県福岡市東区三 苦 6・7 丁目	三苦遺跡群第 5 次	SC0891 竪穴建物	滑石	6C 前	A		竪穴建物内の土坑	Fig95-13	福岡市教委 2003 『三苦 4』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 773
686	福岡県福岡市東区三 苦 6・7 丁目	三苦遺跡群第 5 次	SD1025 溝跡	滑石		B		中世の溝の混入		福岡市教委 2003 『三苦 4』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 773
687	福岡県福岡市博多区 東平尾字久保園	久保園遺跡第 1 次	第 5 号住居跡		5C ?	A			72-T12	福岡市教委 1983 『席田遺跡群久保園遺跡』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 91
688	福岡県福岡市西区大 字元岡	元岡・桑原遺跡群 第 20 次	SX044 池状遺構	滑石	6C	A		G-15 区	Fig85-11	福岡市教委 2008 『元岡・桑原遺跡群 13』 福岡市埋蔵文化財調査報告書 1013
689	福岡県福岡市西区大 字元岡	元岡・桑原遺跡群 第 20 次	SX044 池状遺構	滑石	6C	A		H-12 区	Fig85-12	福岡市埋蔵文化財調査報告書 1013
690	福岡県久留米市小森 野町	筑後川川床遺跡				D	有	宝満川底		田中幸夫 1968 『川床遺跡にみる築後平野と上代遺跡』 『築後地区郷土研究』 1 桃崎祐輔 2013 『九州出土子持勾玉研究入門』 『福岡大学考古学論集 2』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 立 学 院 成	備 考	出 典 図	出 典
691	福岡県直方市感田栗林	感田横穴墓群	10.11.12.13号前庭部	滑石	6C 後か	A	有			上野精志 1984「付感田栗林横穴群発掘調査概要」『小野牟田横穴』直方市文化財調査報告書 6
692	福岡県飯塚市鹿毛馬	島尾遺跡		滑石		C				桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
693	福岡県飯塚市立岩	立岩遺跡		滑石		C				大場磐雄 1972『神道考古学講座 第2巻原始神道 1』雄山閣
694	福岡県八女市大字析埴院	高野町遺跡	27 号住居跡			A				八女市教委 1994『高野町遺跡』八女市文化財調査報告書 33
695	福岡県八女市大字析埴院	高野町遺跡	1 号溝跡			A				八女市教委 1994『高野町遺跡』八女市文化財調査報告書 33
696	福岡県筑後市蔵敷	蔵敷遺跡				C	有			筑後市教委 1993『欠塚古墳 1』筑後市文化財調査報告書 8 古賀寿 1968「筑後市蔵敷出土の子持勾玉」『筑後地区郷土研究』1
697	福岡県行橋市大字天生田	天生田矢萩遺跡	51 号土坑	陶製	6C 後	A		欠損	第 74 図 95	行橋市教委 2012『大谷車掘遺跡・天生田矢萩遺跡』行橋市文化財調査報告書 42
698	福岡県行橋市大字吉国	延永ヤヨミ園遺跡 1 区	403 (511) 号溝跡		6C 前	A			第 125 図 5	九州歴史資料館 2015『東九州自動車道関係埋蔵文化財調査報告 18』
699	福岡県行橋市大字稲童	渡築紫遺跡 C 地区		滑石	7C 中～後	C				行橋市教委 1994『渡築紫遺跡 C 地区』行橋市文化財調査報告書 23
700	福岡県行橋市大字稲童	渡築紫遺跡 C 地区		滑石	7C 中～後	C				行橋市教委 1994『渡築紫遺跡 C 地区』行橋市文化財調査報告書 23
701	福岡県行橋市大字稲童	渡築紫遺跡 C 地区		滑石	7C 中～後	C				行橋市教委 1994『渡築紫遺跡 C 地区』行橋市文化財調査報告書 23
702	福岡県行橋市大字稲童	渡築紫遺跡 C 地区		滑石	7C 中～後	C				行橋市教委 1994『渡築紫遺跡 C 地区』行橋市文化財調査報告書 23
703	福岡県行橋市大字稲童	渡築紫遺跡 C 地区		滑石	7C 中～後	C				行橋市教委 1994『渡築紫遺跡 C 地区』行橋市文化財調査報告書 23
704	福岡県豊前市大字荒堀	荒堀中ノ原遺跡	住居跡	滑石	6C 中	A				豊前市教委 1991『県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告 III』豊前市文化財調査報告書 7
705	福岡県豊前市大字荒堀	荒堀中ノ原遺跡		滑石		C				豊前市教委 1991『県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告 III』豊前市文化財調査報告書 7
706	福岡県豊前市大字荒堀	荒堀中ノ原遺跡		滑石		C				豊前市教委 1991『県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告 III』豊前市文化財調査報告書 7
707	福岡県中間市砂山					D		遠賀川河川敷		桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
708	福岡県小郡市横隈字狐塚 365-1 他	横隈狐塚 I 区				C		古墳か		福岡県教委 1987『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告 10』 桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
709	福岡県小郡市下岩田	下岩田遺跡				D	有			田中幸夫 1968「川床遺跡にみる筑後平野と上代遺跡」『筑後地区郷土研究』1

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
710	福岡県筑紫野市大字古賀字へ木の木	貝元遺跡	河跡1			A			第90図50	福岡県教委 1998『貝元遺跡1』
711	福岡県筑紫野市大字塔原	脇田遺跡				C				桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」 『福岡大学考古学論集2』
712	福岡県春日市春日	向谷遺跡				C				桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」 『福岡大学考古学論集2』
713	福岡県春日市春日公園6丁目	九州大学筑紫キャンパス遺跡群				C				桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」 『福岡大学考古学論集2』
714	福岡県大野城市牛頸	牛頸中通遺跡				C		S2号墳		桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」 『福岡大学考古学論集2』
715	福岡県大野城市牛頸	牛頸日ノ浦遺跡				C				大野城市教委 1994『大野城市文化財調査報告書42牛頸日ノ浦遺跡群』
716	福岡県大野城市仲畑	仲島遺跡				C				大野城市教委 1980『仲島遺跡8』大野城市文化財調査報告書27
717	福岡県宗像市大井	大井遺跡		滑石		D	有	詳細な遺跡名不明		佐多茂 1975「九州の祭祀遺跡」 『九州考古学の諸問題』福岡考古学研究会
718	福岡県宗像市沖ノ島	宗像沖ノ島1号遺跡		滑石		B	有			梶山林編 2002『子持勾玉資料集成』
719	福岡県宗像市沖ノ島	宗像沖ノ島4号遺跡		滑石		B	有			佐多茂 1975「九州の祭祀遺跡」 『九州考古学の諸問題』福岡考古学研究会
720	福岡県宗像市沖ノ島	宗像沖ノ島4号遺跡		滑石		B	有			佐多茂 1975「九州の祭祀遺跡」 『九州考古学の諸問題』福岡考古学研究会
721	福岡県宗像市沖ノ島	宗像沖ノ島21号遺跡		滑石		B	有			佐多茂 1975「九州の祭祀遺跡」 『九州考古学の諸問題』福岡考古学研究会
722	福岡県宗像市沖ノ島	宗像沖ノ島8号遺跡		滑石		B	有			佐多茂 1975「九州の祭祀遺跡」 『九州考古学の諸問題』福岡考古学研究会
723	福岡県宗像市沖ノ島	宗像沖ノ島8号遺跡		滑石		B	有			佐多茂 1975「九州の祭祀遺跡」 『九州考古学の諸問題』福岡考古学研究会
724	福岡県宗像市沖ノ島	宗像沖ノ島21号遺跡		滑石		B				宮地麻未 2021「子持勾玉の系統変化」 『玉文化研究』第5号
725	福岡県宗像市沖ノ島	宗像沖ノ島21号遺跡		滑石		B				宮地麻未 2021「子持勾玉の系統変化」 『玉文化研究』第5号
726	福岡県福岡県宗像市東郷6丁目					D		宗像高校裏		佐多茂 1975「九州の祭祀遺跡」 『九州考古学の諸問題』福岡考古学研究会
727	福岡県宗像市田島	宗像大社				D				桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」 『福岡大学考古学論集2』
728	福岡県宗像市田島					D				桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」 『福岡大学考古学論集2』
729	福岡県太宰府市水城	裏ノ田遺跡	6号址住居跡	滑石		A	有			酒井仁夫 1977「裏ノ田遺跡」 『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書-XVII』
730	福岡県太宰府市水城	裏ノ田遺跡	21号址住居跡	滑石	6C末	A	有			酒井仁夫 1977「裏ノ田遺跡」 『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書-XVII』

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
731	福岡県太宰府市太宰府	大宰府跡都府楼	溝跡	滑石		C	有			佐多茂 1975「九州の祭祀遺跡」『九州考古学の諸問題』福岡考古学研究
732	福岡県古賀市太田町	太田町遺跡	E9 区確認面	滑石		B	有			石山敷 1978「福岡県粕屋郡古賀町所在遺跡群の調査 2」『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告』XXI
733	福岡県古賀市鹿部	鹿部田淵遺跡？				D		鹿部田淵付近表採		桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
734	福岡県古賀市					D				桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
735	福岡県古賀市坂田	坂田野間ノ下遺跡	16 号住居			A				桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
736	福岡県福津市津丸五郎丸	津丸五郎丸遺跡	第 5 トレンチ	滑石	7C 後	B	有			上野精志・池田善文 1973「津丸五郎丸遺跡」・『福岡大学考古学論集 2』
737	福岡県福津市津丸	津丸西ノ後遺跡				C				桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
738	福岡県宮若市平	下原遺跡	ピット状遺構	滑石		A			第 23 図	若宮町教委 1990『中遺跡群 I 福岡県鞍手郡若宮町大字平所在下原遺跡の調査』若宮町文化財調査報告書 8
739	福岡県那珂川市片縄	井河遺跡		滑石か		C	有			茂和敏ほか 1989『井河遺跡』那珂川町文化財調査報告書第 19 号
740	福岡県糟屋郡宇美町大字炭焼	稲金・山ノ上遺跡	P3	滑石	6C 後 ～未？ 7C か	A		欠損	第 11 図 8	宇美町教委 2015『稲金・山ノ上遺跡 八反田遺跡』宇美町文化財調査報告書 20
741	福岡県糟屋郡宇美町大字炭焼	稲金・山ノ上遺跡	P3	滑石	6C 後 ～未？ 7C か	A		欠損	第 11 図 9	宇美町教委 2015『稲金・山ノ上遺跡 八反田遺跡』宇美町文化財調査報告書 20
742	福岡県糟屋郡宇美町大字炭焼	稲金・山ノ上遺跡	P3	滑石	6C 後 ～未？ 7C か	A		欠損	第 11 図 10	宇美町教委 2015『稲金・山ノ上遺跡 八反田遺跡』宇美町文化財調査報告書 20
743	福岡県糟屋郡宇美町大字炭焼	稲金・山ノ上遺跡	P3	滑石	6C 後 ～未？ 7C か	A		欠損	第 11 図 11	宇美町教委 2015『稲金・山ノ上遺跡 八反田遺跡』宇美町文化財調査報告書 20
744	福岡県糟屋郡宇美町大字炭焼	稲金・山ノ上遺跡	P4	滑石	6C 後 ～未？ 7C か	A		欠損	第 11 図 20	宇美町教委 2015『稲金・山ノ上遺跡 八反田遺跡』宇美町文化財調査報告書 20
745	福岡県粕屋郡篠栗町	宮の前遺跡				D				桃崎祐輔 2013「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
746	福岡県糟屋郡志免町大字吉原字松ヶ上	松ヶ上遺跡		滑石		B				志免町教委 1996『松ヶ上遺跡』志免町文化財調査報告書 6
747	福岡県糟屋郡志免町大字吉原字松ヶ上	松ヶ上遺跡		滑石		B				志免町教委 1996『松ヶ上遺跡』志免町文化財調査報告書 6
748	福岡県糟屋郡志免町大字吉原字松ヶ上	松ヶ上遺跡		滑石		B				志免町教委 1996『松ヶ上遺跡』志免町文化財調査報告書 6
749	福岡県糟屋郡志免町大字吉原字松ヶ上	松ヶ上遺跡		滑石		B				志免町教委 1996『松ヶ上遺跡』志免町文化財調査報告書 6

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 学 院	備 考	出 典 図	出 典
750	福岡県糟屋郡志免町 大字吉原字松ヶ上	松ヶ上遺跡		滑石		B				志免町教委 1996 『松ヶ上遺跡』志免町文化財調査報告書 6
751	福岡県粕屋郡久山町 久原			滑石		D	有	若八幡宮付近 重圈文		岡本健児 1942「筑前久原村出土の子持勾玉」『古代文化』13-2
752	福岡県遠賀郡岡垣町 大字糠塚	高丸・友田遺跡群	住居跡	滑石	6C 後	A				岡垣町教委 2008 『高丸・友田遺跡群』 岡垣町文化財発掘調査報告書 27
753	福岡県鞍手郡鞍手町 新延	火の尾 1 号墳			7C ?	C	有			小田富士夫 1972 「九州」『神道考古学講座』第 2 卷
754	福岡県鞍手郡鞍手町 新延	火の尾 1 号墳			7C ?	C	有			小田富士夫 1972 「九州」『神道考古学講座』第 2 卷
755	福岡県朝倉郡筑前町	出口遺跡	落ち込み			B				夜須町教委 2000 『出口遺跡』夜須町調査報告書 XXXII
756	福岡県築上郡築上町	広幡遺跡	2 号住居跡	滑石	6C 末 ～7C 初	A			第 67 図	福岡県教委 1992 『椎田バイパス関係埋蔵文化財調査報告 9』 椎田バイパス関係埋蔵文化財調査報告 9
757	佐賀県佐賀市城内 1 丁目	石木遺跡	SX006 (川及び 堀跡)	滑石		A	有		第 10 図	佐賀県教委 1976 『石木遺跡』佐賀県文化財調査報告書 35
758	佐賀県佐賀市久保泉 町大字上和泉字東高 田	東高田遺跡 1 区・2 区・3 区	SH25 竪穴住居跡	滑石	6C 前 ～中	A		欠損	Fig25	佐賀市教委 1992 『原ノ町遺跡・東高田遺跡・機木遺跡・北宿遺跡・南宿遺跡』佐賀市文化財調査報告書 38
759	佐賀県佐賀市兵庫町 大字瓦町字牟田寄	牟田寄遺跡	谷地形落ち込み		6C 後	A		谷地形第 12 層から祭祀遺物多量出土	Fig39-33	佐賀市教委 1997 『牟田寄遺跡 V 9B 区の調査』佐賀市文化財調査報告書 84
760	佐賀県佐賀市久保泉 町大字上和泉字徳永	徳永遺跡				C				桃崎祐輔 2013 「九州出土子持勾玉研究入門」 『福岡大学考古学論集 2』
761	佐賀県唐津市菜畑	菜畑内畑遺跡	SX43			C				桃崎祐輔 2013 「九州出土子持勾玉研究入門」 『福岡大学考古学論集 2』
762	佐賀県唐津市原字 溜ノ内・西ノ畑	中原遺跡				C				桃崎祐輔 2013 「九州出土子持勾玉研究入門」 『福岡大学考古学論集 2』
763	佐賀県鳥栖市楠比町 大字永田					C				佐賀県教育庁 1964 『佐賀県の遺跡』佐賀県文化財調査報告書 13
764	佐賀県鳥栖市田代本 町大字神辺字上ノ車	永田 4 号墳	封土		6C ?	A	有	上ノ車遺跡		松尾祐作 1957 『佐賀県考古大観』先史・原史時代編 祐徳博物館
765	佐賀県小城市牛津町	練ヶ里遺跡	包含層	滑石	5C 代?	B		欠損	Fig18-111	牛津町教委 1992 『練ヶ里遺跡 2』牛津町文化財調査報告書 3
766	佐賀県小城市芦刈町	小路遺跡	SK205	滑石		B			Fig.20-1	芦刈町教委 1980 『小路遺跡』
767	佐賀県神埼市神埼町 大字本堀	荒堅目遺跡		滑石		B				神埼町教委 1985 『荒堅目遺跡』
768	佐賀県神埼郡吉野ヶ 里町大曲瀬ノ尾	瀬ノ尾遺跡	SH0664 住居跡			C				桃崎祐輔 2013 「九州出土子持勾玉研究入門」 『福岡大学考古学論集 2』
769	佐賀県神埼郡吉野ヶ 里町立野・豆田	下中枕遺跡				D		欠損		『下中枕遺跡 (吉野ヶ里町) から「子持ち勾玉」出土』 佐賀新聞 2016 年 11 月 4 日

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時期	評 価	國 集 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
770	佐賀県三養基郡上峰町	下石動遺跡	SB024 住居跡	滑石	6C 前	A	有	埋土中層	Fig225-392	佐賀県教育庁 1987 『下石動遺跡・堤一本黒木遺跡・谷渡古墳群・一本桜古墳群 6』佐賀県文化財調査報告書 86
771	長崎県松浦市志佐町 栢木免ほか	栢ノ木遺跡 第 26 次	トレンチ 8 第Ⅲ層	滑石		B			第 15 図 15	長崎県松浦市教委 2015 『松浦市内遺跡確認調査 (4)』松浦市文化財調査報告書 6
772	長崎県杵岐市芦辺町 住吉東蝕	住吉神社境内				D	有	重圈文		稲山林編 2002 『子持勾玉資料集成』
773	長崎県杵岐市勝本町 立石東蝕 52	双六古墳	墓道	滑石	6C 後?	A				老岐市教委 2006 『双六古墳』老岐市文化財調査報告書 7
774	熊本県八代市興善寺町	興善寺志水遺跡	D-7 グリッド トレンチ第Ⅱ層	滑石		B	有		第 46 図	熊本市教委 1980 『興善寺Ⅱ』熊本県文化財調査報告書 45
775	熊本県人吉市原田町	原田遺跡				D				桃崎祐輔 2013 「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
776	熊本県山鹿市鹿央町 広向原					D				桃崎祐輔 2013 「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
777	熊本県宇城市松橋町 久具	久具遺跡		蛇紋岩		C	有			富樫卯三郎 1967 「熊本県下益城郡松橋町久具出土の子持勾玉について」『夜豆志呂』3
778	熊本県球磨郡多良木町 新山	多良木新山遺跡				C	有			乙重隆 1979 「第二章原始」『多良木町史』
779	大分県大分市 羽屋字上芦原・土毛・甲斐本	古国府遺跡群甲斐本地区	A 区包含層	滑石	6C 後 ～ 7C 前	B		欠損	第 18 図	大分県教委 1999 『古国府遺跡群 上芦原地区土毛地区 甲斐本地区』大分県文化財調査報告書 104
780	宮崎県宮崎市上別府 広島	広島古墳	副葬品か	滑石		C	有			後藤守一 1930 「子持勾玉」『考古学講座一石製品』小田富士夫 1972 「九州」『神道考古学講座』第 2 巻
781	宮崎県宮崎市宮ノ原 町	宮ノ原遺跡				C				桃崎祐輔 2013 「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
782	宮崎県延岡市上伊形 町越路	越路遺跡	不時発見			C	有		第 1 図	宮崎県教委 1990 『林遺跡一般国道 10 号土々呂バイパス建設工事にともなう埋蔵文化財発掘調査報告書』
783	宮崎県えびの市大字 上江					D		伝上江中学校		桃崎祐輔 2013 「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
784	宮崎県児湯郡新富町	上園遺跡 E 区	30 号住居跡	滑石		A			第 4 図 - 7	宮崎県児湯郡新富町教委 1988 『北原牧地区遺跡 (蔵園遺跡・上園遺跡・上園遺跡・東牧遺跡)』新富町文化財調査報告書 7
785	宮崎県児湯郡木城町					D				桃崎祐輔 2013 「九州出土子持勾玉研究入門」『福岡大学考古学論集 2』
786	宮崎県西臼杵郡五ヶ 瀬町三ヶ所赤谷付近			滑石		D	有			石川恒太郎 1968 『宮崎県の考古学』
787	宮崎県西臼杵郡五ヶ 瀬町三ヶ所中山			滑石		D	有	中山丸塚		小田富士夫 1972 「九州」『神道考古学講座』第 2 巻
788	鹿児島県指宿市十二 町下里	橋牟礼川遺跡	37 号住居	滑石		A			63 図 3-99	鹿児島県指宿市教委 2016 『橋牟礼川遺跡総括報告書』指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書 56
789	鹿児島県肝属郡肝 付町高屋神社内	高屋神社内				C	有			鹿児島県教委 1985 『鹿児島県市町村別遺跡地名表』鹿児島県埋蔵文化財調査報告書 36

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國集 學 院成	備 考	出 典 図	出 典
790	鹿児島県肝属郡肝付 町北方櫛木前田	櫛木前田遺跡	住居跡			C				鹿児島県教委 1985『鹿児島県市町村別遺跡地名表』 鹿児島県埋蔵文化財調査報告書 36
791	鹿児島県肝属郡肝付 町北方櫛木前田	櫛木前田遺跡		安山岩		D				鹿児島県教委 1985『鹿児島県市町村別遺跡地名表』 鹿児島県埋蔵文化財調査報告書 36
792	韓国扶餘軍守里					D	有			崔恩珠 1987「わが国に滑石製母子曲玉について」 『三仏金元龍教授停年退任記念論叢』1 考古学編
793	韓国					D	有	出土地不明		崔恩珠 1987「わが国に滑石製母子曲玉について」 『三仏金元龍教授停年退任記念論叢』1 考古学編
794	韓国全羅南道昇州郡 松光面月山里半月					C	有	半月里支石墓横		崔恩珠 1987「わが国に滑石製母子曲玉について」 『三仏金元龍教授停年退任記念論叢』1 考古学編
795	韓国晋州付近			大理石 のよう		D	有			崔恩珠 1987「わが国に滑石製母子曲玉について」 『三仏金元龍教授停年退任記念論叢』1 考古学編
796	韓国慶尚道？			蛭石		D	有	重圈文		崔恩珠 1987「わが国に滑石製母子曲玉について」 『三仏金元龍教授停年退任記念論叢』1 考古学編
797	韓国慶尚道？			蛭石		D	有			崔恩珠 1987「わが国に滑石製母子曲玉について」 『三仏金元龍教授停年退任記念論叢』1 考古学編
798	韓国全羅南道新安郡 押海島 大川里光笠部落	新安押海島				C	有			崔恩珠 1987「わが国に滑石製母子曲玉について」 『三仏金元龍教授停年退任記念論叢』1 考古学編
799	出土地不明			滑石		D			第十四版 第一圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)
800	出土地不明			滑石		D			第十四版 第二圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)
801	出土地不明			滑石		D			第十四版 第三圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻))
802	出土地不明			蛇紋岩		D			第十四版 第四圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)
803	出土地不明			蛇紋岩		D			第十四版 第五圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)
804	出土地不明			蛇紋岩		D			第十四版 第六圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)
805	出土地不明			蛇紋岩		D			第十四版 第七圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)
806	出土地不明					D			第十四版 第八圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)
807	出土地不明			雲母板石		D			第十五版 第一圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻))
808	出土地不明			灰石		D			第十五版 第二圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻))
809	出土地不明			蛇紋岩		D			第十五版 第三圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)
810	出土地不明			蛇紋岩		D			第十五版 第四圖	神田孝平 1886『日本大古石器考』(1983 復刻)

番 号	所 在 地	遺 跡 名	遺 構	材 質	時 期	評 価	國 立 學 院 成	備 考	出 典 図	出 典
811	出土地不明			滑石		D			第十五版 第五圖	神田孝平 1886 『日本大古石器考』 (1983 復刻)
812	出土地不明			蛇紋岩		D			第十五版 第七圖	神田孝平 1886 『日本大古石器考』 (1983 復刻)
813	出土地不明					D			第十六版 第三圖	神田孝平 1886 『日本大古石器考』 (1983 復刻)
814	出土地不明			滑石		D			第十六版 第四圖	神田孝平 1886 『日本大古石器考』 (1983 復刻)
815	出土地不明			蛇紋岩		D			第十六版 第五圖	神田孝平 1886 『日本大古石器考』 (1983 復刻)
816	出土地不明					D			第十六版 第六圖	神田孝平 1886 『日本大古石器考』 (1983 復刻)
817	出土地不明			滑石		D			第十六版 第七圖	神田孝平 1886 『日本大古石器考』 (1983 復刻)